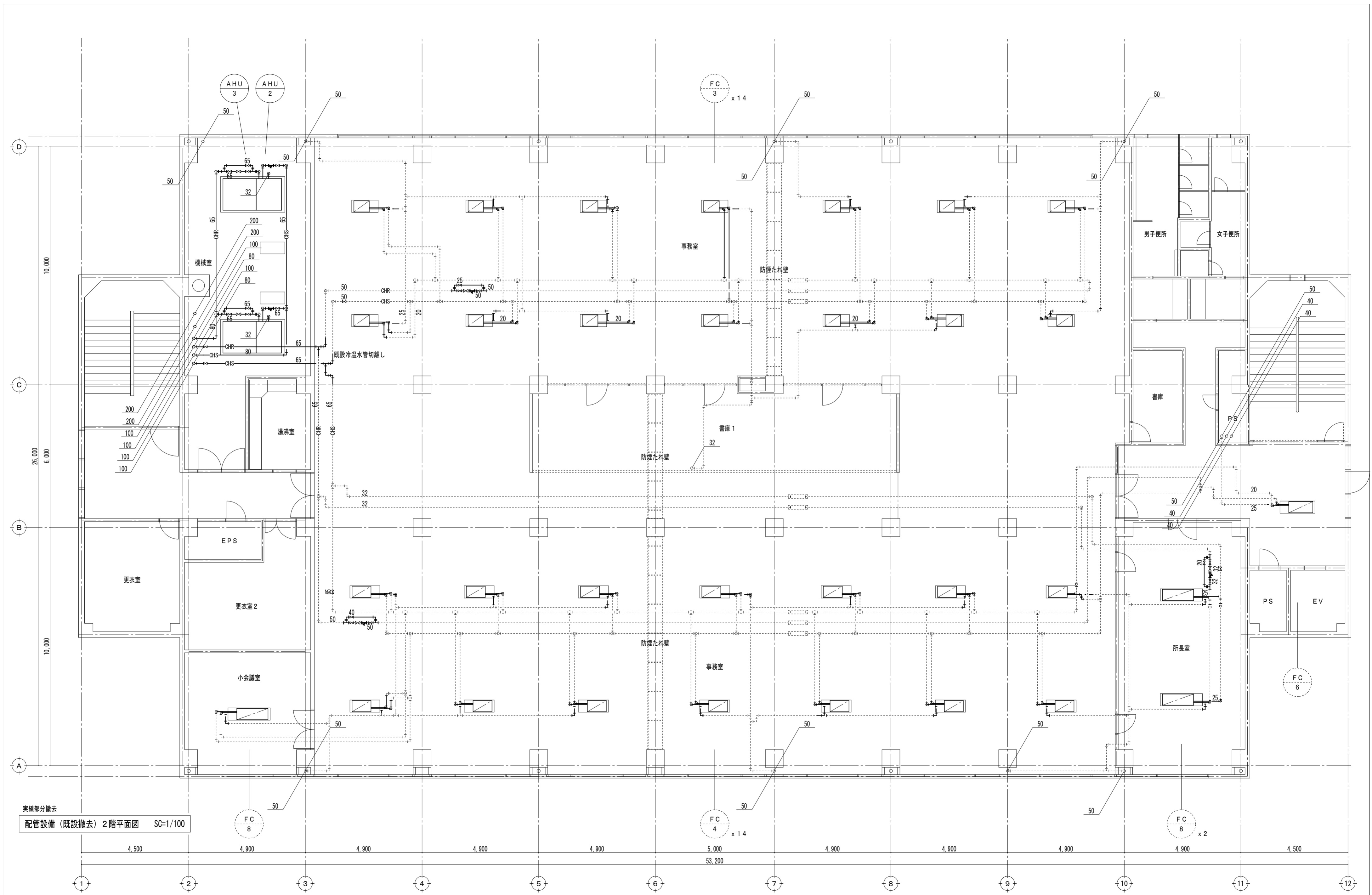


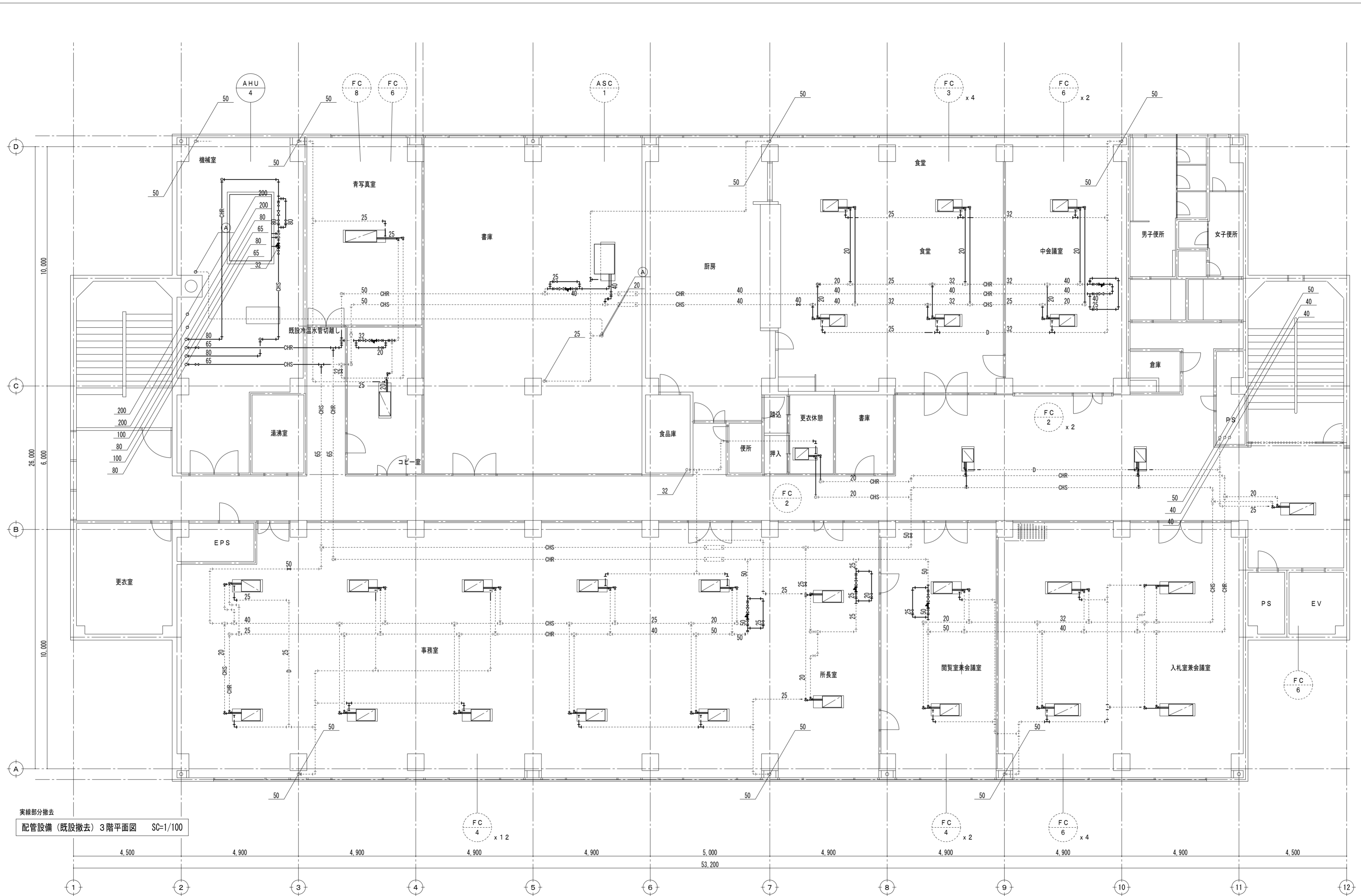
実線部分撤去  
配管設備（既設撤去）1階平面図 SC=1/100

徳島県土整備部営繕課	●工事名	R6 営繕 東部県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調	●図面番号	AC-25	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198
	●図面名	配管設備（既設撤去）1階平面図	●縮尺	A2 1/100 A3 1/141	



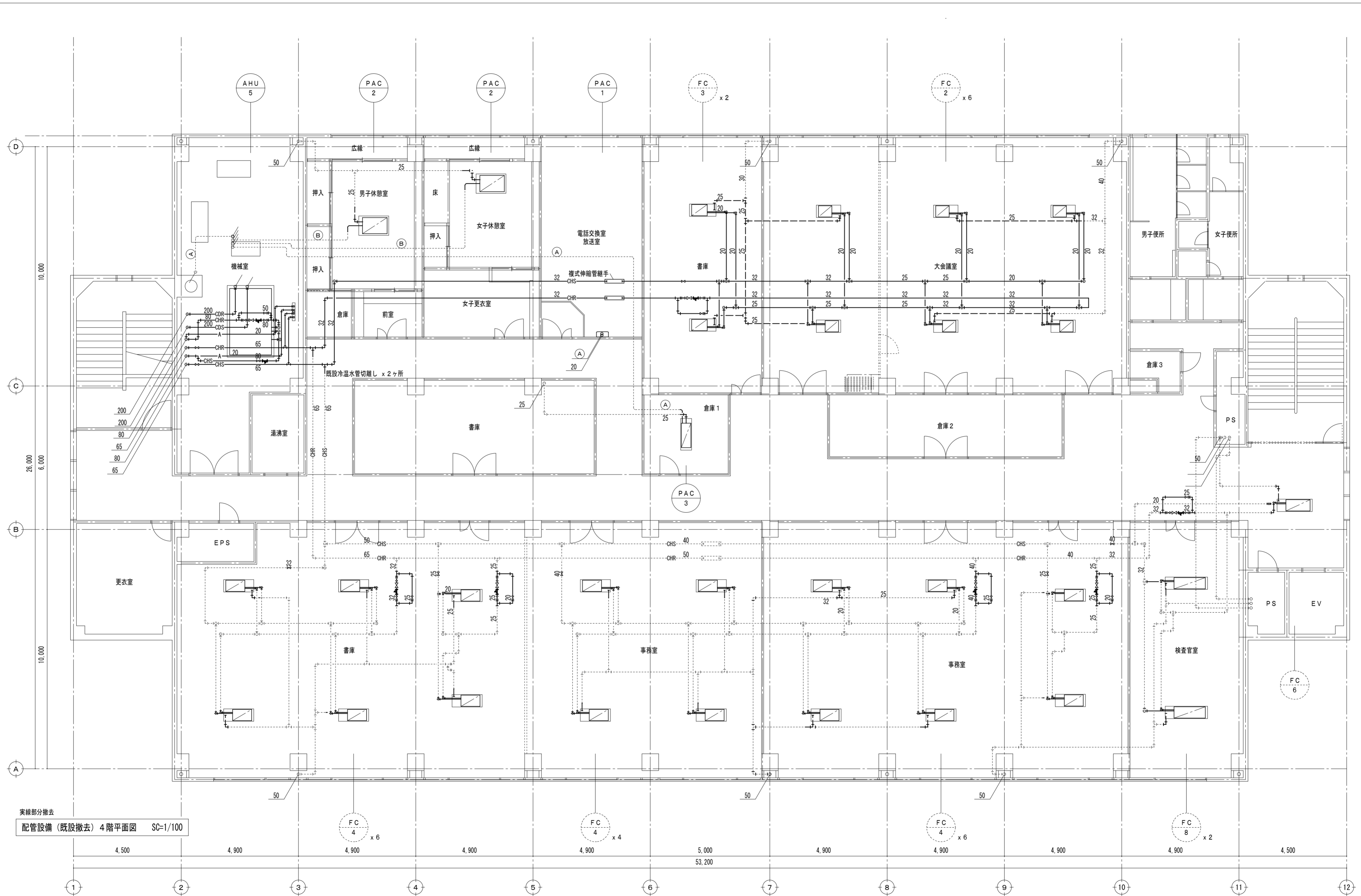
実線部分撤去  
配管設備 (既設撤去) 2階平面図 SC=1/100

徳島県土整備部営繕課	●工事名	R 6 営繕 東部県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調	●図面番号	AC-26	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198
	●図面名	配管設備 (既設撤去) 2階平面図	●縮尺	A2 1/100 A3 1/141	



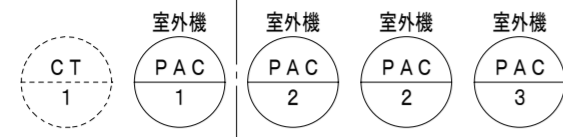
実線部分撤去  
配管設備（既設撤去）3階平面図 SC=1/100

徳島県土整備部営繕課	●工事名	R6 営繕 東部県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調	●図面番号	AC-27	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198
	●図面名	配管設備（既設撤去）3階平面図	●縮尺	A2 1/100 A3 1/141	



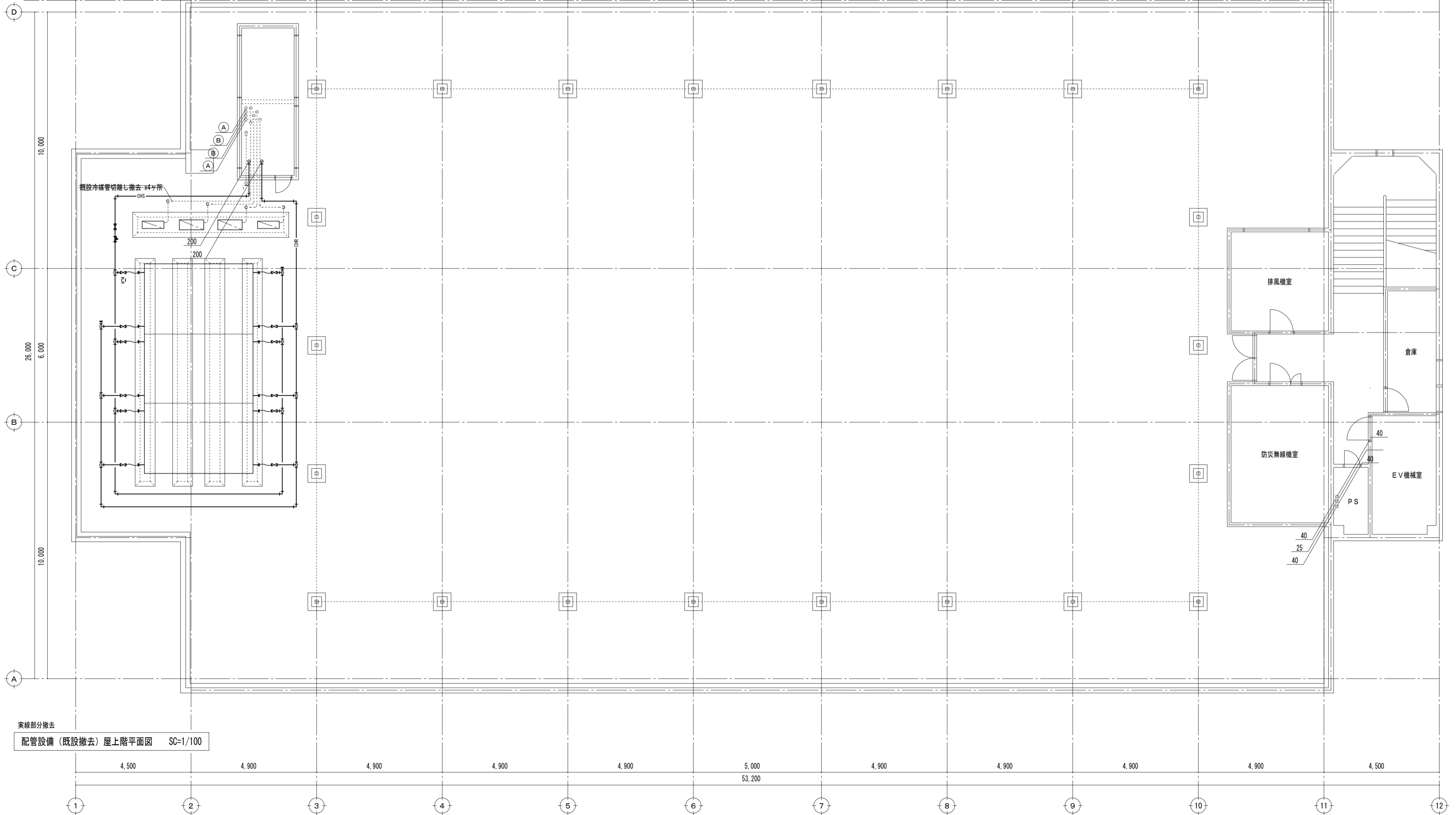
実線部分撤去  
配管設備（既設撤去）4階平面図 SC=1/100

徳島県土整備部営繕課 ●工事名 R6 営繕 東部県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調 ●図面名 配管設備（既設撤去）4階平面図	●図面番号 AC-28	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198
	●縮尺 A2 1/100 A3 1/141	



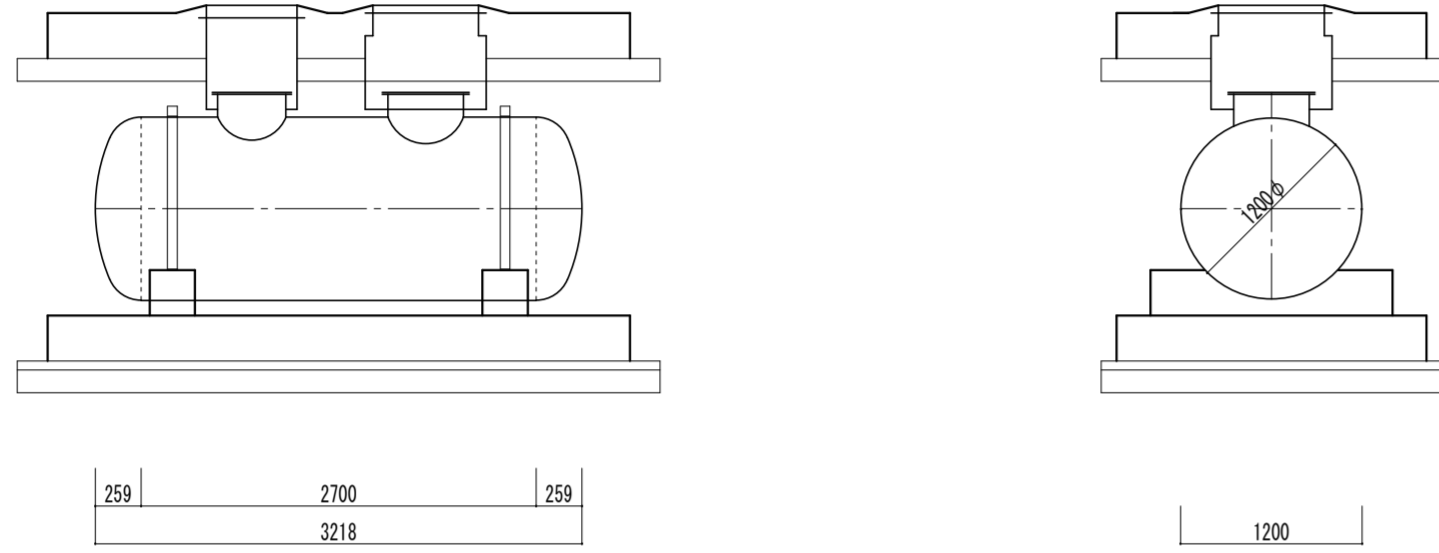
冷媒配管表 (参考値)

記号	配管口径
(A)	9.5 x 15.9
(B)	12.7 x 19.1



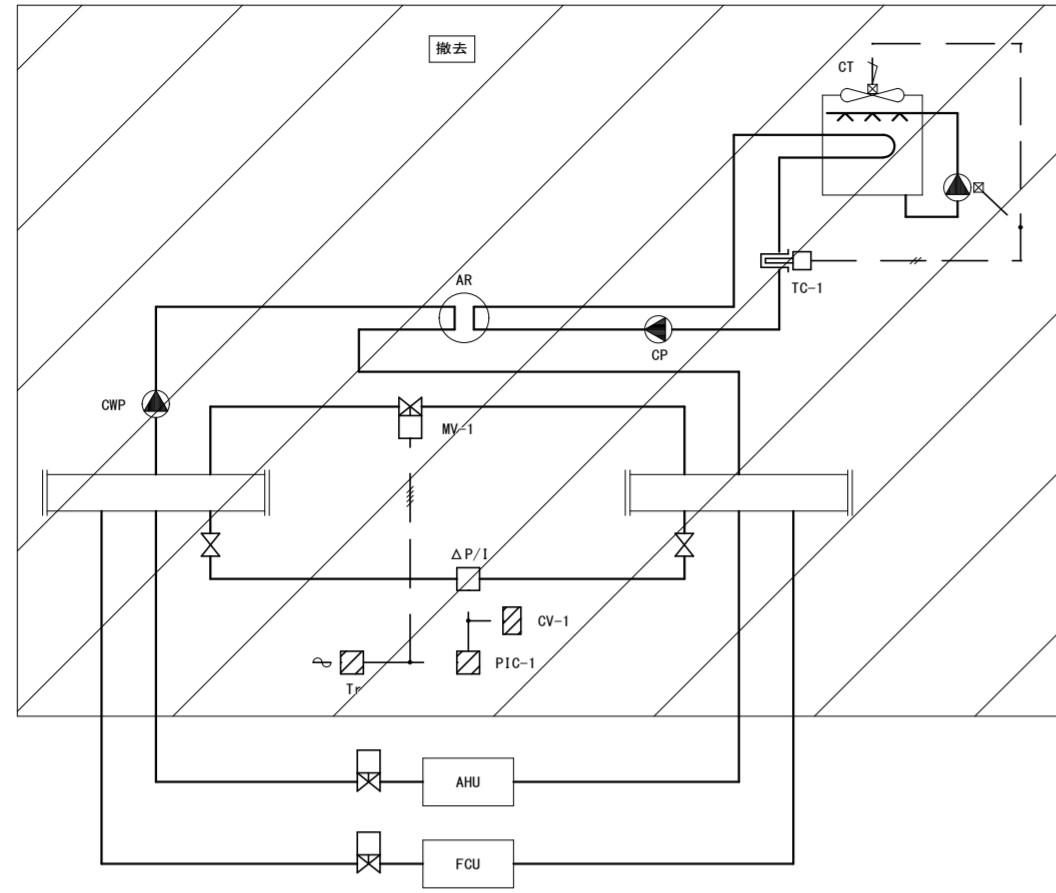
実線部分撤去  
配管設備 (既設撤去) 屋上階平面図 SC=1/100

（注記） 1. 既設オイルタンク（容量 3000L）に砂充填する。



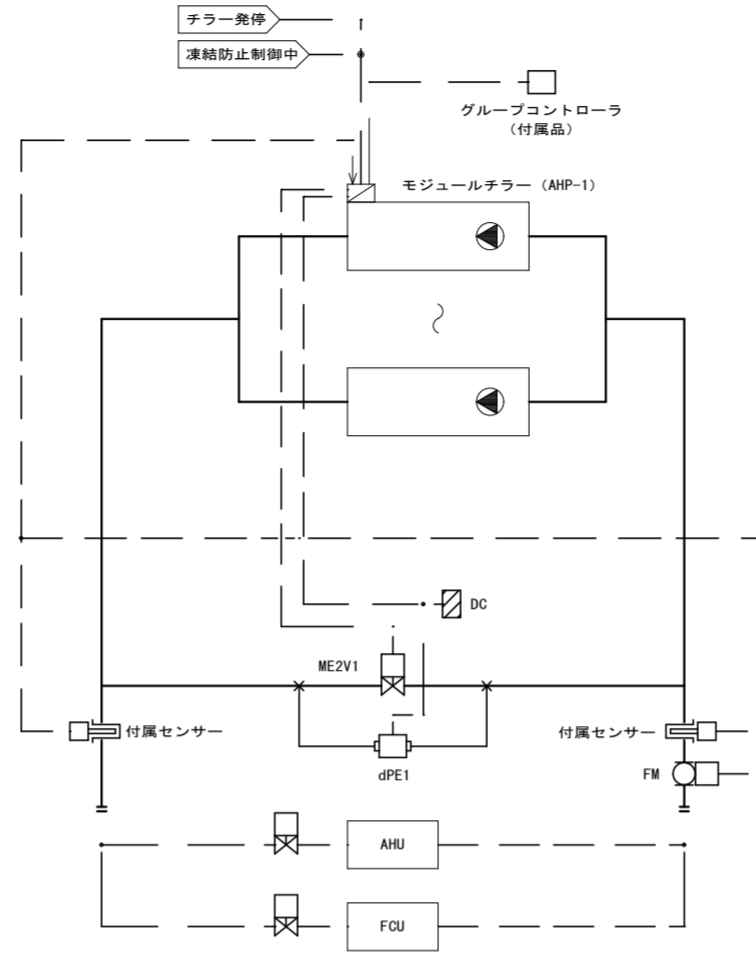
徳島県土整備部営繕課	●工事名	R 6 営繕 東部県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調	●図面番号	AC-30	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町 1 丁目 6 番地 2 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198
	●図面名	既設オイルタンク（砂充填）参考図	●縮尺	A2 : 1/50 A3 : 1/71	

1 熱源制御 (既設)



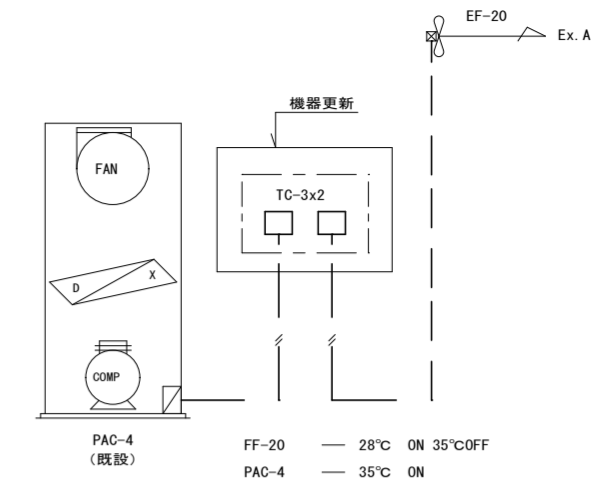
(動作説明)  
往ヘッダーと還ヘッダーとの差圧を一定に保つよう差圧を検知し、2方弁をコントロールする。空調機、ファンコイルの温度制御は2方弁にて行う。  
冷却塔ファン及びポンプはサーモTC-1によりON/OFFし、省エネを計る。

(改修後)

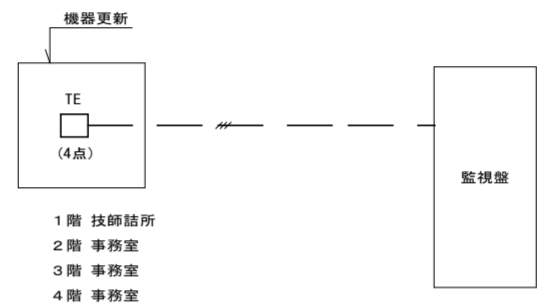


制御項目  
1. 台数制御 (本体機能)  
2. 往還バイパス制御 (本体機能)

3 防災無線PAC

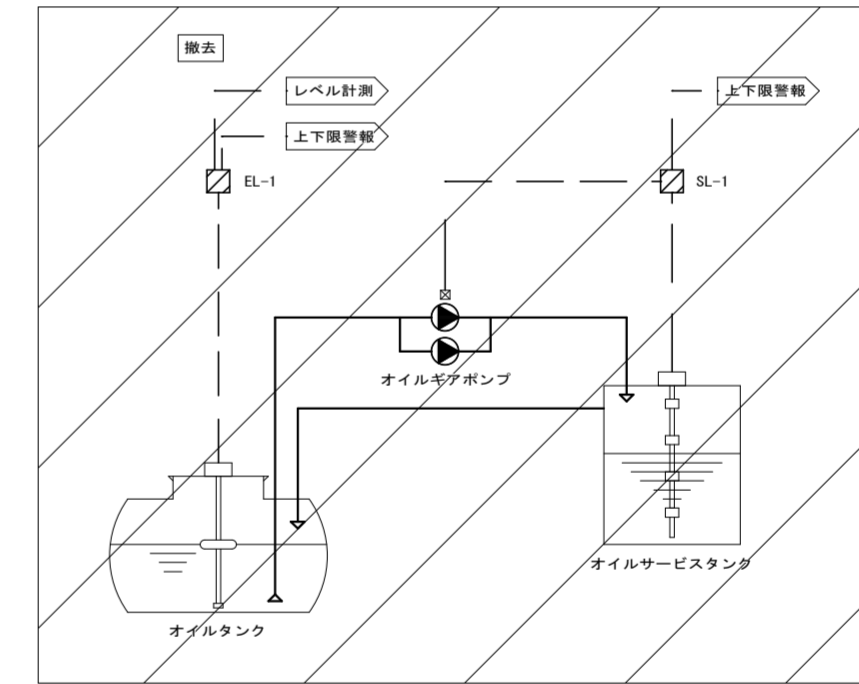


4 計測



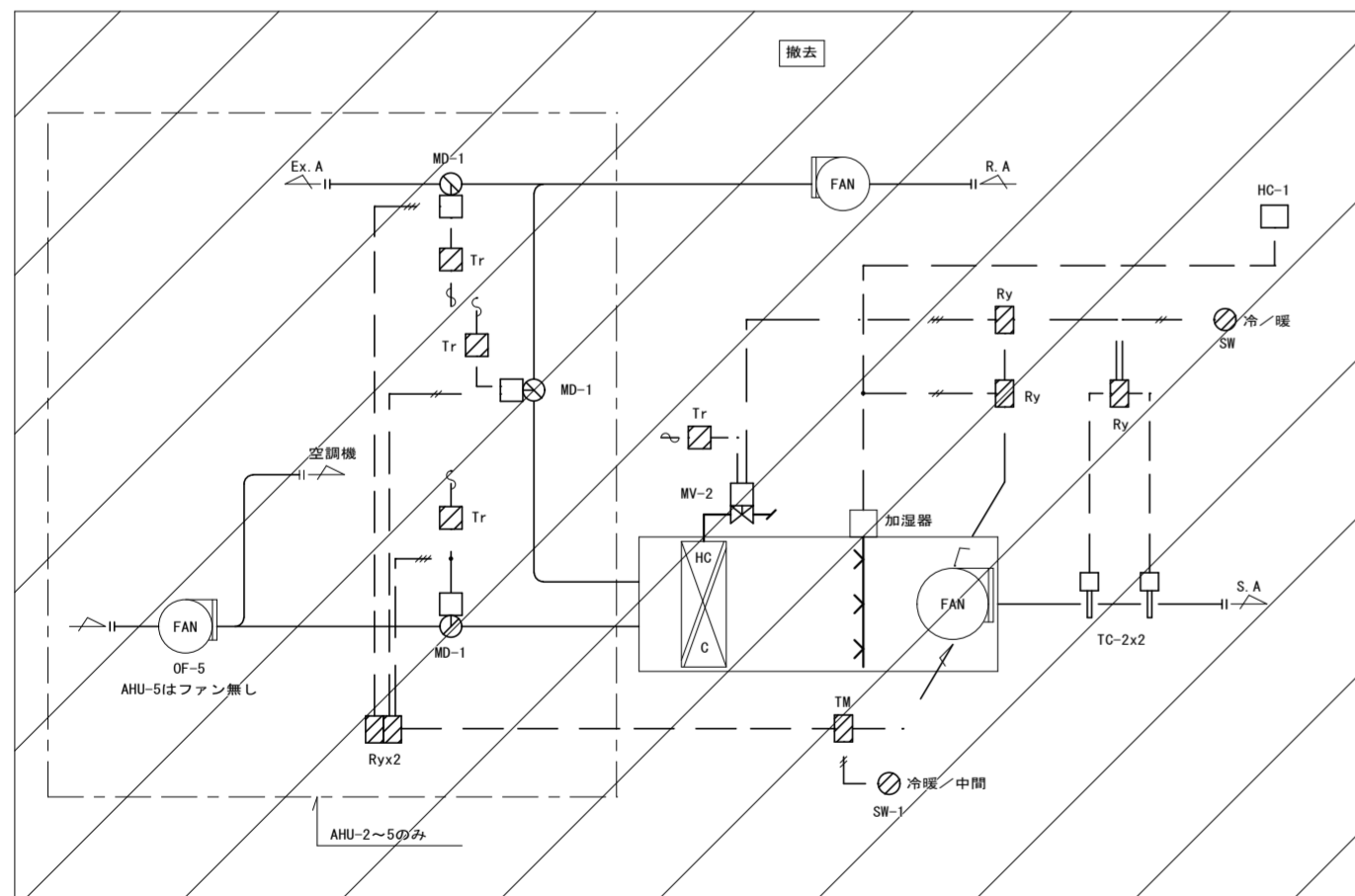
1階 技師詰所  
2階 事務室  
3階 事務室  
4階 事務室

5 オイルタンク



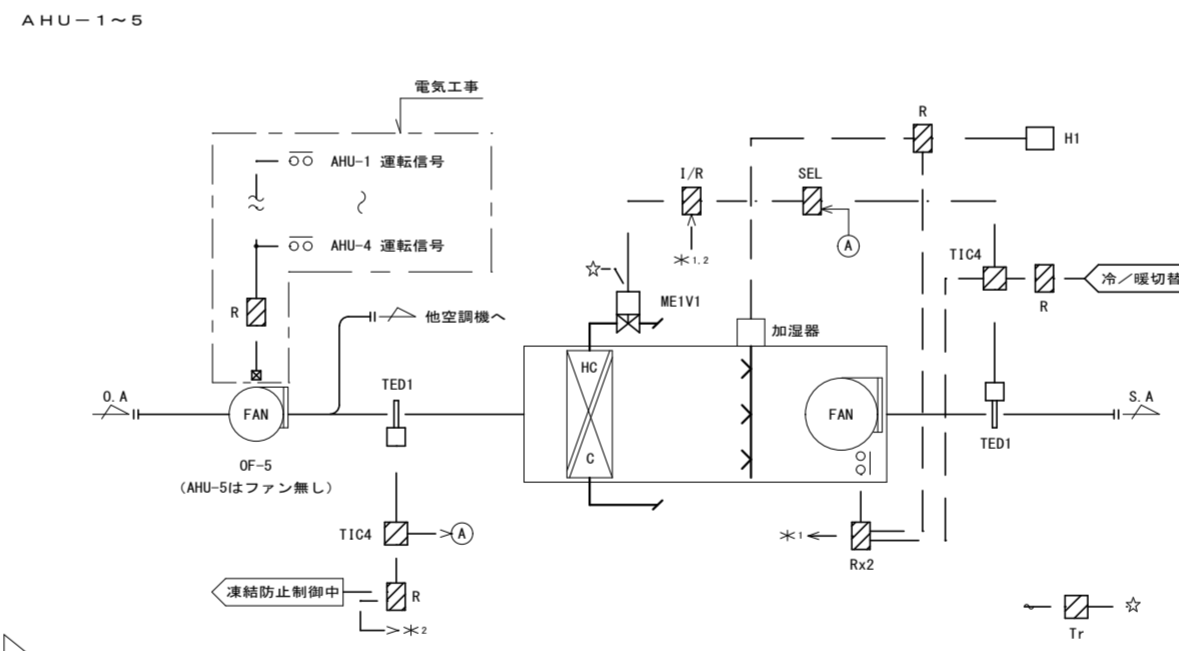
制御項目  
1. レベル制御  
タンク内レベルによりオイルポンプの発停制御を行う。  
2. レベル監視  
レベル異常時、警報を出力する。(上限/下限)  
  
(注記) 1. オイルポンプの自動交互運転は電気設備工事とする。

2 一次処理空調機制御 (既設)



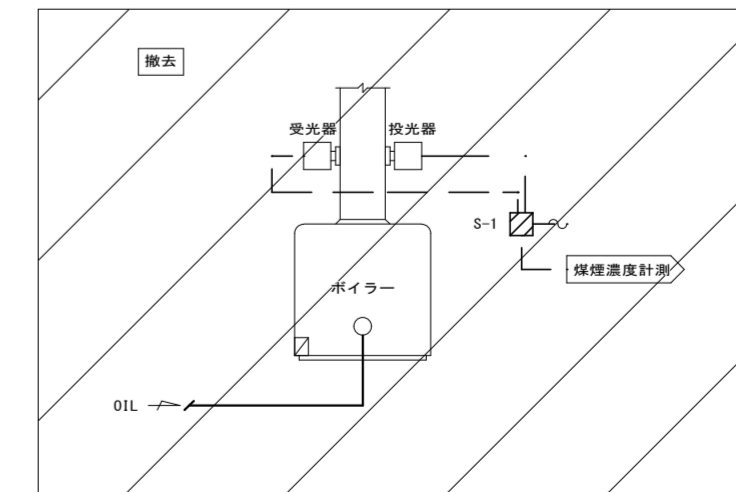
(動作説明)  
空調機吸出しに設けたサーモTC-2にて、一次処理空気の吐出温度を検知し、冷温水2方弁をコントロールし、吐出し温度を一定に保つ。  
又、この系統の室内に設けたヒューミ(HC-1)で加湿器をON/OFFし室内湿度を一定に保つ。  
冷房及び暖房時、起動時の室内温度の上上がり早める為、外気・排気のモータダンパーを全開、送気ダンパーを全開の全速運転を行う。

(改修後) 5組



制御項目  
1. 給気温度制御  
給気温度により冷温水弁の比例制御を行う。  
  
2. 室内湿度制御  
室内湿度により加湿器のON/OFF制御を行う。  
  
3. 運転制御 (別途電気工事)  
AHU-1~4とOF-5は運転とし、AHUが1台でも起動すればOF-5は定格運転させる。  
4. 凍結防止制御  
外気取入ダクト内温度が凍結防止判断設定以下になった時、「凍結防止制御中」の信号を中央監視へ出力し、下記の様に凍結防止運転を行う。  
・空調機停止時: 冷温水弁を全開(100%開度)とする。  
また、冷温水ポンプ停止時には「凍結防止制御中」の信号により、冷温水ポンプを強制起動する。  
・空調機運転時: 外気取入ダクト内温度により、冷温水弁の比例制御(フィードフォワード制御)を行う。  
(給気温度制御信号との要求が大きい値を選択)  
  
5. 空調機停止時のインターロック制御 (対象: ダンパ/2方弁/加湿器)

6 煤煙濃度監視



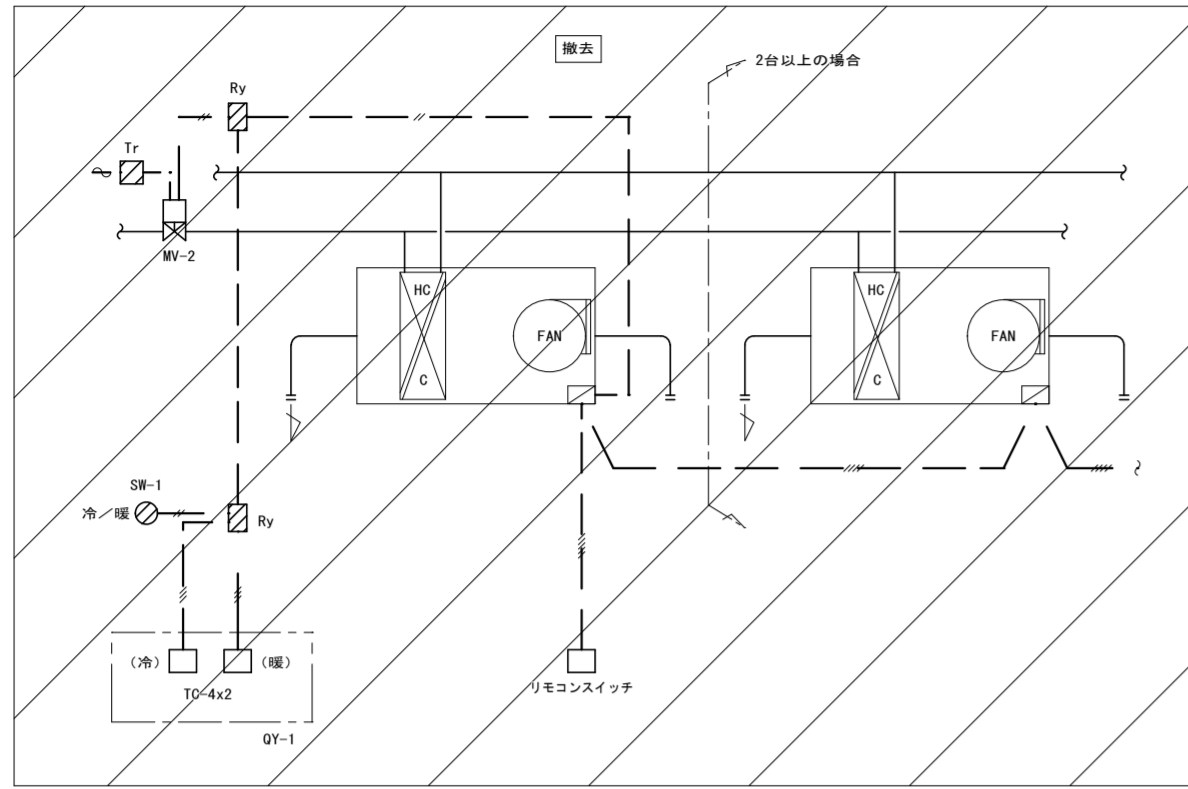
制御項目  
1. 煤煙濃度監視  
煙道内煤煙濃度の監視を行う。

徳島県土木整備部営繕課

●工事名  
R6 営繕 東部県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調  
  
●図面名  
自動制御設備 計装図(1) (既設・改修後) 【参考】

●図面番号  
AC-31  
●縮尺: A2 1/NON  
A3 1/NON

株式会社 ACE 設計  
〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198

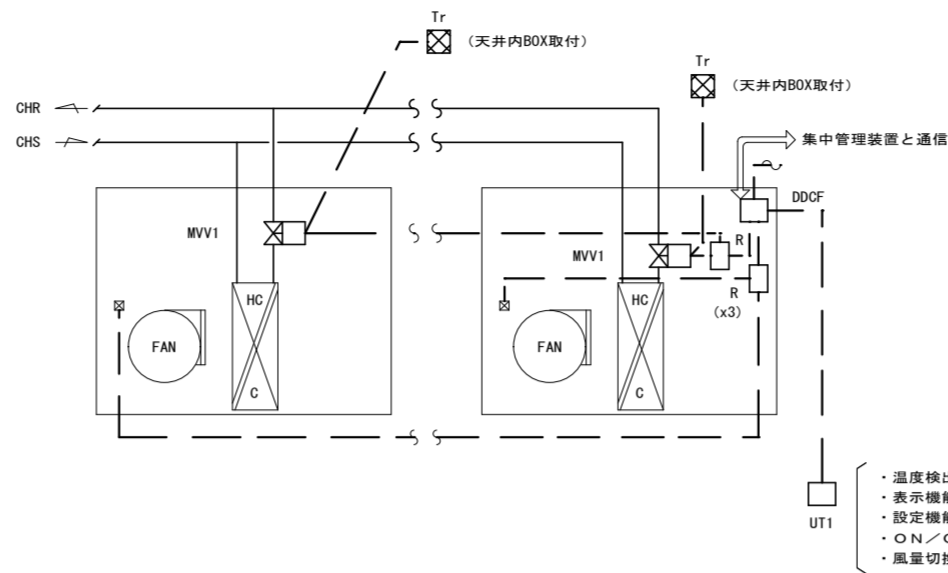


(動作説明)  
ファンコイルのファンの風量コントロールを行う。  
又、サーモ (TC) で数台のファンコイルの温度コントロールを行う。

系統

1階 x2系統 : ①・②  
2階 x3系統 : ③～⑤  
3階 x5系統 : ⑥～⑩  
4階 x6系統 : ⑪～⑯

計 16系統



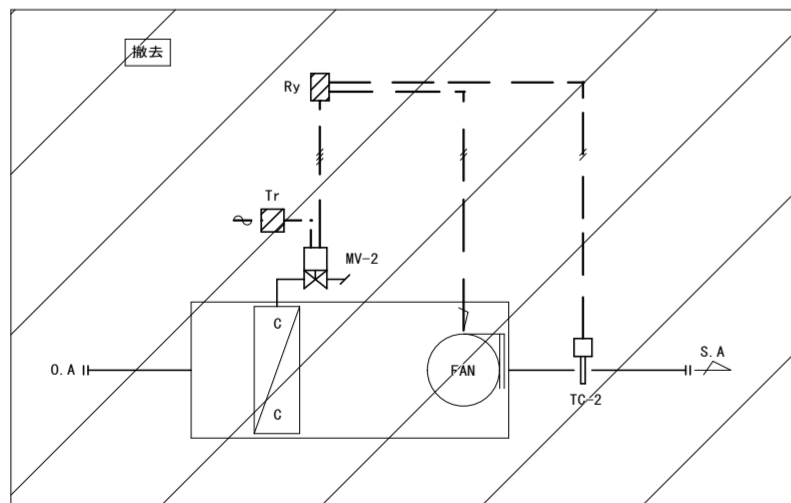
- 制御項目
- 室内温度制御  
室内温度により小型電動ボール弁のON/OFF制御を行う。
  - ファンコイル発停制御  
室内設定器 (UT1) によりファンコイルユニットの発停を行う。
  - ファンコイル停止時のインターロック制御  
ファン停止時にバルブを全閉とする。
  - 冷暖切替  
中央にて冷房動作・暖房動作を切替える。
  - 中央監視システムとの通信  
(発停・設定・計測)

- (注記)
- DDCF, VV1, Rはファンコイルメーカーへ支給し、ファンコイルメーカーにて取付け配線の上、現場へ搬入する。  
(取付、ファンコイル内部の配線工事はファンコイルメーカー工事区分)
  - ファン発停及び、風量切替 (LMH) 機能は室内設定器 (UT1) が持つものとする。

系統一覧

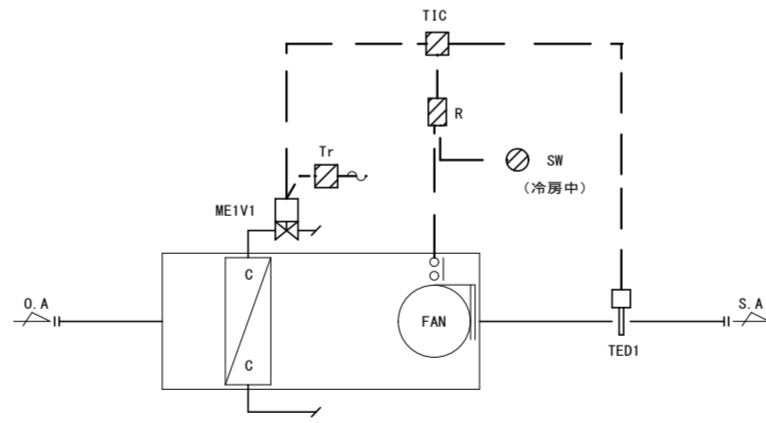
階数	室名	UT1台数	FCU台数	備考
1	監視室	1	1	
	清掃員詰所	1	1	
	運転者 休憩室	1	1	
	運転者詰所	1	2	
	技師 休憩室	1	1	
	技師詰所	1	2	
	展示ホール	1	2	
	売店	1	2	
	エントランスホール	1	3	
	E L Vホール	1	1	
計	10			
2	北側事務室	7	2x7系統=14	
	南側事務室	7	2x7系統=14	
	小会議室	1	1	
	所長室	1	2	
	E L Vホール	1	1	
計	17			

階数	室名	UT1台数	FCU台数	備考
3	青写真室	1	1	
	コピー室	1	1	
	食堂	2	2x2系統=4	
	中会議室	1	2	
	南側事務室	5	2x5系統=10	
	所長室	1	2	
	開室兼会議室	1	2	
	入札室兼会議室	2	2x2系統=4	
	食堂更衣室	1	1	
	廊下	1	2	
E L Vホール	1	1		
計	17			
4	北側書庫	1	2	
	大会議室	3	2x3系統=6	
	南側書庫	3	2x3系統=6	
	南側事務室-1	2	2x2系統=4	
	南側事務室-2	3	2x3系統=6	
	検査官室	1	2	
E L Vホール	1	1		
計	14			



(動作説明)  
空調機吸出口に設けたサーモ (TC) にて吐出温度を一定に保つよう冷水2方弁をコントロールする。

ACM-1



- 制御項目
- 給気温度により、2方弁を比例制御する。
  - 夏期 (冷水供給時) のみ、2方弁制御を行う。  
それ以外は2方弁は全閉とし、送風運転とする。  
(SWによる切替)

自動制御機器表 既設 撤去

記号	名称	参考型番	仕様	備考
TC-1	温度調節器	T675A/保護管	ON/OFF、配管用	
TC-2	温度調節器	T991A/A341	比例、ダクト用	
TC-3	温度調節器	T631C	ON/OFF、室内用	
TC-4	温度調節器	T9065A	比例	
TE	温度検出器	T7091A	室内型	
SW	スイッチ	APN210Z		
HC-1	湿度調節器	HY6000Z	ON/OFF、室内用	
ΔP/1	差圧発信器	KD1		
CV-1	DC24V電源	WN716A		
P10-1	圧力指示調節計	R7372C		
Tr	トランス	AT		
Ry	補助リレー			
TM	タイマー			
MV-1	電動2方弁	M904F Q455C V5064A		
MV-2	電動2方弁	M904E Q455C V5063.64A		
M1D	ダンパー操作器	M604C Q605A		
S-1	煤煙温度計	S-21		
SL-1	油面スイッチ	SL-31		
EL-1	油面計	EL-5192		

自動制御機器表 改修 新設

記号	名称	参考型番	仕様	備考
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
TC-3	室内用温度調節器	TY6301Z	ON/OFF動作	
-	-	-	-	-
TE	室内用温度検出器	TY7043Z	Pt100Ω	
SW	切替スイッチ		2ノッチ	
H1	室内用湿度調節器	HY6000Z	ON/OFF動作	
DPE1	差圧発信器	JTD		
DC	DC24V電源	RYY792D		
Tr	トランス	AT72-J1	AC100・200V/24V	
R	補助リレー			
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
ME2V1	電動2方弁	YV5133J	電流信号	
ME1V1	自動制御弁	YV5110J	M/M信号	
M1D	ダンパー操作器	MY6050A	ON/OFF動作、AC24V電源	
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
FM	電流量計	MGG10C/MGG11	ウエハ型	
TED1	ダクト用温度検出器	TY7803Z	Pt100Ω	
T1C1	温度指示調節計	R361R	M/M出力	
T1C4	温度指示調節計	R361C	4~420mA出力	
UT1	表示設定器	QY7205A	風量切替付	
DDVF	FCUコントローラ	WJ-1202	ON/OFF動作	
MV1	FCU用電動2方弁	MY5560C/YV5202A		
I/R	モータードライバー	RM796A		



弁・流量計口径表 (既設) 撤去

系 統	流 体	流 量 (l/min)	口 径 (A)	備 考
熱源バイパス	冷温水	1800	100	
AHU-1	冷温水	107	40x32	
AHU-2	冷温水	144	40x32	
AHU-3	冷温水	134	40x32	
AHU-4	冷温水	290	50	
AHU-5	冷温水	307	50	
厨房	冷水	50	25x20	
ファンコイル1 F (1)	冷温水	64	25	
" (2)	冷温水	120	40x32	
ファンコイル2 F (2)	冷温水	123	40x32	
" (3)	冷温水	30	15x15	
" (4)	冷温水	84	25	
ファンコイル3 F (3)	冷温水	90	25	
" (5)	冷温水	16	15x15	
" (6)	冷温水	79	25	
" (7)	冷温水	40	25x20	
" (8)	冷温水	26	15x15	
ファンコイル4 F (4)	冷温水	32	25x20	
" (9)	冷温水	16	15x10	
" (10)	冷温水	64	25	
" (11)	冷温水	16	15x15	
" (12)	冷温水	41	25x20	
" (13)	冷温水	36	25x20	

弁・流量計口径表 (改修後) 新設

設備記号/系統	型 番	流 体	流 量 (L/min)	P 1 (kPa)	ΔP (kPa)	C V値	口 径 (A)	備 考
バイパス弁	VY51 (高差圧)	W2	1600		50.0	156.9	100	
流量計	MGG (電磁)	W	2070				125	
AHU-1	VY51**J (水)	W2	110		30.0	13.9	25	
AHU-2	VY51**J (水)	W2	110		30.0	13.9	25	
AHU-3	VY51**J (水)	W2	90		30.0	11.4	25	
AHU-4	VY51**J (水)	W2	240		30.0	30.4	40	
AHU-5	VY51**J (水)	W2	280		30.0	35.4	40	
FCU-2	VY55*2A	W2	6		30.0	0.5	20	
FCU-3	VY55*2A	W2	8		30.0	0.8	20	
FCU-4	VY55*2A	W2	10		30.0	1.0	20	
FCU-6	VY55*2A	W2	12		30.0	1.5	20	
FCU-8	VY55*2A	W2	16		30.0	2.0	20	
厨房スポットクーラー	VY51**J (水)	W2	28.5		30.0	3.6	15	

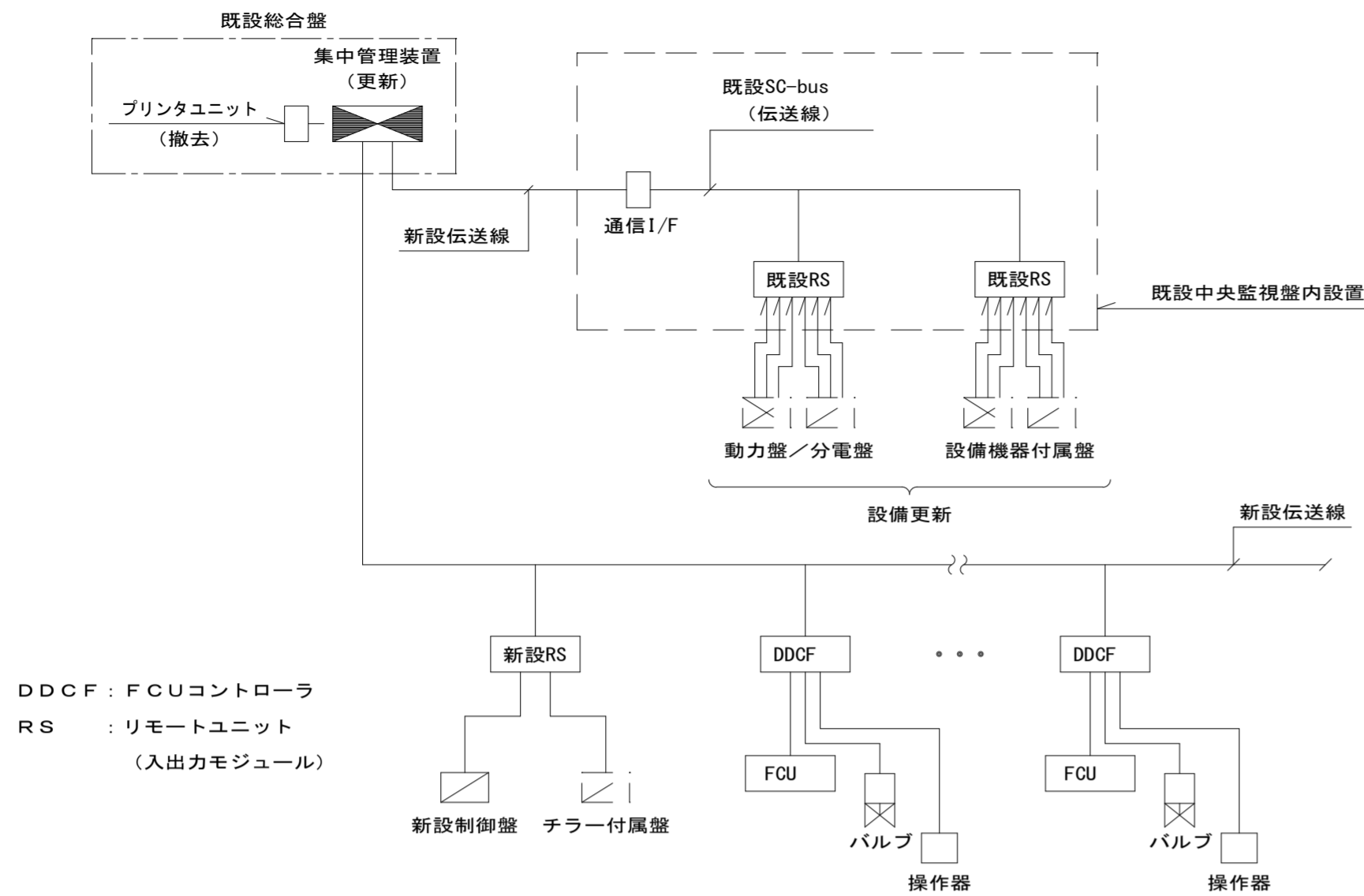
盤寸法表 (既設) 撤去

盤 名	形 状	参考寸法			収納系統名	備 考
		W	H	D		
CP-1		600	1950	350	熱源 AHU-1, オイルタンク, 煤煙	
CP-2		500	700	250	AHU-2, 3	
CP-3		500	700	250	AHU-4	
CP-4		500	700	250	AHU-5	

盤寸法表 (改修後) 新設

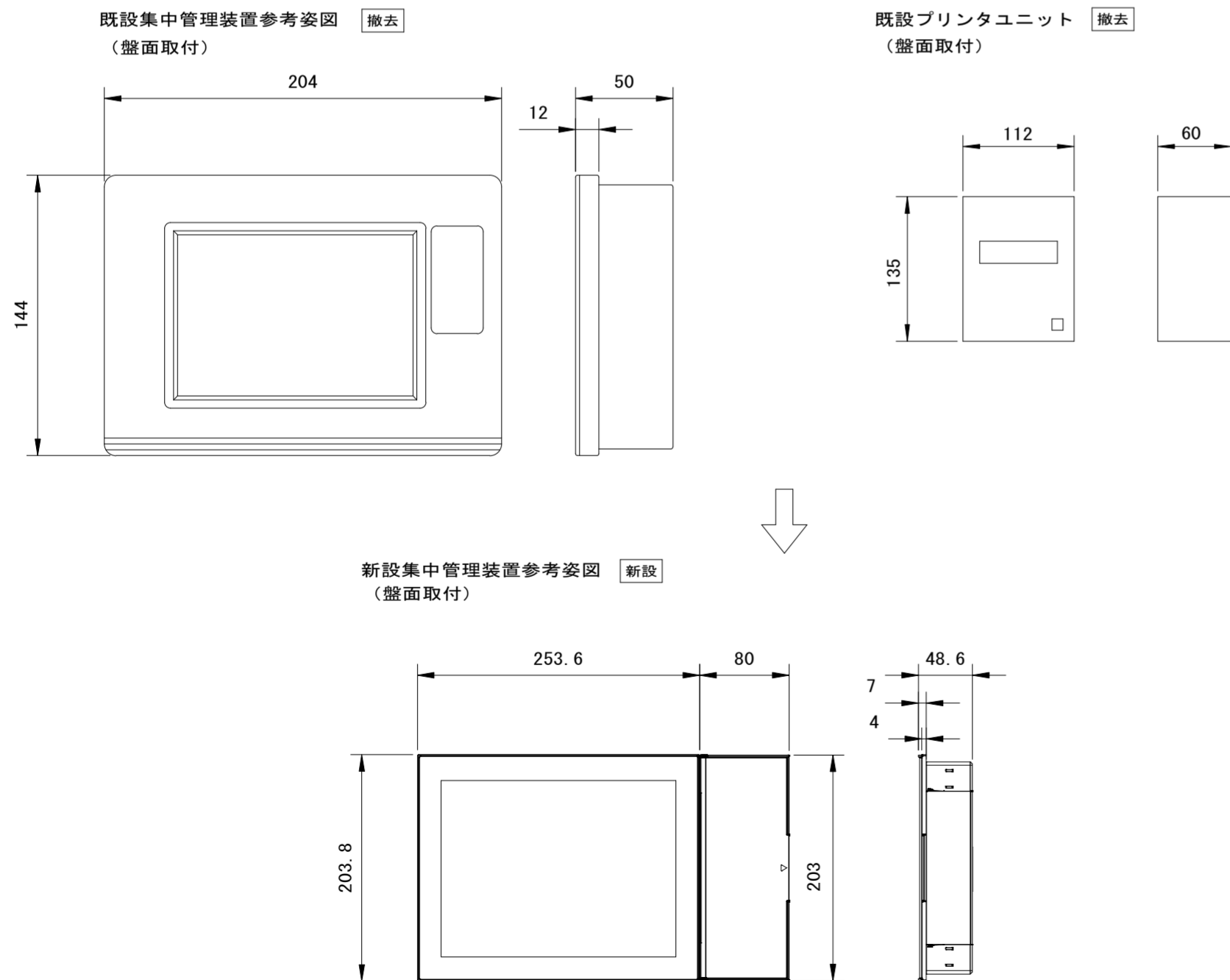
盤 名	形 状	参考寸法			収納系統名	備 考
		W	H	D		
CP-1-N		700	900	250	AHU-1	
CP-2-N		700	1300	250	AHU-2, 3	
CP-3-N		700	1100	250	AHU-4, 厨房スポットクーラー	
CP-4-N		700	900	250	AHU-5	

システム構成図



外形図 (参考)

・既設総合盤取付機器の更新を行う。



集中管理システム機器機能表

機器名称	システム機能	機器仕様
集中管理装置 更新	<ol style="list-style-type: none"> <li>個別発停/設定機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別発停</li> <li>・温度表示及び設定変更</li> <li>・FCUの風量設定変更(強/中/弱)</li> <li>・設備機器の発停、運転状態、警報監視</li> <li>また、警報発生時には画面表示及びブザーの鳴動を行う。</li> </ul> </li> <li>アナンシエータ機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナンシエータ画面に任意のポイントを登録し、監視することができる。</li> <li>最大7枚、30ポイント/枚</li> </ul> </li> <li>一覧監視機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視点種別毎に監視ができる。</li> <li>(空調/照明/一般操作/状態/警報/計測/計量/アナログ出力)</li> <li>・監視点の状態毎に監視ができる。</li> <li>(運転中/警報中/トラブル中/無効中)</li> <li>・管理者が任意に選択したポイントの一覧監視ができる。</li> </ul> </li> <li>FCUグループ管理機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・FCUをグルーピングし、一括管理することができる。</li> <li>最大40グループ、20台/グループ</li> </ul> </li> <li>FCU連動機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・FCU別FCUへの連動運転ができる。</li> <li>発停、設定、風量等の連動の他、室温計測値の共有が可能。</li> </ul> </li> <li>計測値上下限監視機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・計測点に関して、計測値があらかじめ指定した上下限値範囲から外れた場合に警報出力を行う。</li> </ul> </li> <li>一括警報出力</li> <li>週間スケジュール機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・週間スケジュールタイマーにより発停/設定値変更できる。</li> <li>(2位置用: 75, 3位置用: 75, 設定値用: 50)</li> </ul> </li> <li>年間カレンダー運転機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間カレンダーにより休日/5種類の特別日の設定ができる。</li> <li>(最大200カレンダー)</li> </ul> </li> <li>冷暖切替機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・FCUの冷暖切替が操作画面よりできる。(最大8系統)</li> </ul> </li> <li>機器連動運転機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視点の状態変化/警報発生により設備機器の連動発停ができる。</li> </ul> </li> <li>操作/状態変化/警報履歴表示機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作/状態変化/警報発生履歴の履歴が画面に表示できる。</li> <li>(操作/状態変化/警報の合計で最大2500件)</li> </ul> </li> <li>停復電制御機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・停電発生時、対象機器への出力抑制と不一致制御を行う。</li> <li>・自家発電装置有の場合は、自家発電時、順序投入を行う。</li> <li>・商用電源断後、復電した際、設備機器を復電後のあるべき状態にする様に機器の再起動を行う。</li> </ul> </li> <li>火災時一括停止機能                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災一括信号入力時、設備機器の一括停止を行う。</li> </ul> </li> </ol>	<p>システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定格電源電圧 : DC24V±10% 最大14.5W (自立盤組込)</li> <li>設置条件 : D種接地</li> <li>周囲条件 : 5~40℃, 20~80%RH (但し結露なきこと)</li> <li>停電補償 : 停電後4.8時間補償 (データメモリ及びカレンダー動作)</li> <li>リチウム電池</li> </ul> <p>表示・操作部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形式 : 10.4型バックライト付カラーLCD</li> <li>表示文字 : 漢字 (JIS第1, 第2水準), アイコン (絵文字)</li> <li>操作方法 : タッチオペレーション</li> </ul>
プリンタユニット 撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作/状態/警報の履歴印字を行う。</li> <li>・操作/状態変化/警報発生履歴を、印刷範囲を指定して印刷ができる。</li> <li>・電力デマンドの日報/月報/年報画面の印刷ができる。</li> <li>・集中検針の集計データを手動操作で印刷ができる。</li> </ul>	<p>印字方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーマルライン方式</li> <li>英、数、カナ、漢字 (JIS第1, 第2水準)</li> <li>4.8字/行 (半角英数カナ)</li> <li>感熱ロール紙 (紙幅58mm)</li> </ul>
既設リモート ユニット (既設RS) 既設利用	現場に設置して集中管理装置とデータ伝送を行う。	<p>入出力点数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中管理装置入出力一覧表参照</li> </ul> <p>電源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AC100~240V +10%/−15%, 50/60Hz</li> </ul>
既設伝送線 (SC-bus) 既設利用	集中管理装置と端末伝送装置間のデータ伝送を行う。	<p>通信速度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4800bps</li> </ul> <p>通信方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用通信</li> </ul> <p>ケーブル仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LANケーブル, コネクタ接続</li> <li>(EIA568準拠カテゴリ3~5 0.5φ×4P)</li> </ul>
FCU コントローラ (DDCF) 新設	集中管理装置と連携し、FCUの制御を行う。	<p>電源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AC100V/AC100~240V, 50/60Hz</li> </ul>
新設伝送線 新設	集中管理装置と端末伝送装置間のデータ伝送を行う。	<p>通信速度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・76.8Kbps</li> </ul> <p>通信方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用通信</li> </ul> <p>ケーブル仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LANケーブル, コネクタ接続</li> <li>(EIA568準拠カテゴリ5e 0.5φ×4P)</li> </ul>
通信I/F 新設	既設伝送線を新設集中管理装置に接続して使用できるようにする。	<p>電源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AC100~240V, 4VA</li> <li>別途既設伝送線用電源: DC24V, 15W</li> </ul> <p>通信方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設伝送線 (SC-bus) を新設伝送線 (RS-485相当) に変換する。</li> </ul>
新設リモート ユニット 新設	現場に設置して集中管理装置とデータ伝送を行う。 端末伝送装置と各入出力点数は個別配線とし、動力盤との信号取り合いは補助リレー等で電氣的に分離して入出力点の事故から影響を受けないようにする。	<p>入出力点数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中管理装置入出力一覧表参照</li> </ul> <p>電源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AC100~240V, 50/60Hz</li> </ul>

徳島県土木整備部営繕課

●工事名  
R6 営繕 徳島県土木整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調

●図面名  
中央監視盤設備 参考図 【参考】

●図面番号  
AC-34

●縮尺  
A2 : 1/NON  
A3 : 1/NON

株式会社 ACE 設計  
〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198

RS 取合回路図 (既設)

既設

端子番号	a (D10タイプ)	b (D1タイプ)	c (A1タイプ)
	入出力項目	発停 (瞬時接点)・状態・警報点×2点 パルス接点出力 接点入力	下記 接点入力
入出力装置 (リモート盤) (既設)			
外部配線			
現場側機器			
備考	1. CX, TX (DC 24Vリレー) には、スパークキラー (ダイオード等) を取付のこと。 2. 接点入力は、無電圧 a 接点連続のこと。	1. 無電圧 a 接点連続入力  <ポイントタイプ> ・状態・警報×4点 ・状態×8点 ・警報×8点 ・状態×4点+警報×4点  (例) 状態接点 運転状態 5 2 X 電圧確立 8 4 (例) 警報接点 トリップ 5 1 X 不足電圧 2 7 地 絡 6 4 液面上下限 火報 (水平区画)	1. 入力信号 1~5VDC 4~20mADC 2. 入力インピーダンス 100KΩ (1~5VDC) 300Ω (4~20mADC) 3. アイソレーションなし

既設

端子番号	d (TOTタイプ)	e (Ptタイプ)
	入出力項目	積算×8点 パルス入力
入出力装置 (リモート盤) (既設)		
外部配線		
現場側機器		
備考	1. パルス幅: ON時間 30ms以上, OFF時間 30ms以上, ON+OFF時間 100ms以上。 2. 接点入力は、無電圧 a 接点, 又は無電圧トランジスタ接点のこと。	1. 入力信号 Pt100Ω 2. 回路電圧, 電流 DC 1V, 1mA

新設

入出力項目	発停, 状態	状態	故障
	瞬時接点出力 接点入力	接点入力	接点入力
リモートユニット RS DDC			
外部配線			
現場側機器			
備考	a-a 接点 1. 状態確認用入力接点は、補助継電器 (5 2 X) 側を使用のこと。 2. 遠方用補助継電器 (CX, TX) には、スパークキラー (ダイオード等) を取付のこと。	1. 入力信号 無電圧 a 接点連続 2. 回路電圧, 電流 DC 24V, 5mA	1. 入力信号 無電圧 a 接点連続 2. 回路電圧, 電流 DC 24V, 5mA



(機器凡例)

シンボル	記号	配線	配管
○	TED1	EM-CEE1. 250 -3C x 1 (E25)	
○	TE	1V20 x 3 (E19) / (G16)	既設配線利用
○	H1	1V20 x 2 (E19)	既設配線利用
○	UT1	EM-LANケーブル x 1 (E25) (MMB)	
□	ME1V1	EM-CEE20-6C x 1 (E31)	
□	加湿器	EM-CEE20-2C x 1 (E25)	
○	付属センサ	EM-CEE1. 250 -3C x 1 (G22)	
⊗	dPE1	EM-CEES1. 250-2C x 1 (G22)	
⊗	FM	EM-CEES1. 250-2C x 1 (G22)	
□	ME2V1	EM-CEE20 -3C x 1 (G22)	
□	FCU	EM-CEES1. 250-2C x 1 (G22)	
□	FCU	EM-CEE20 -2C x 1 (G22)	
□	FCU	DDCF, MVV1内蔵型	
□	FCU	MVV1のみ内蔵型	

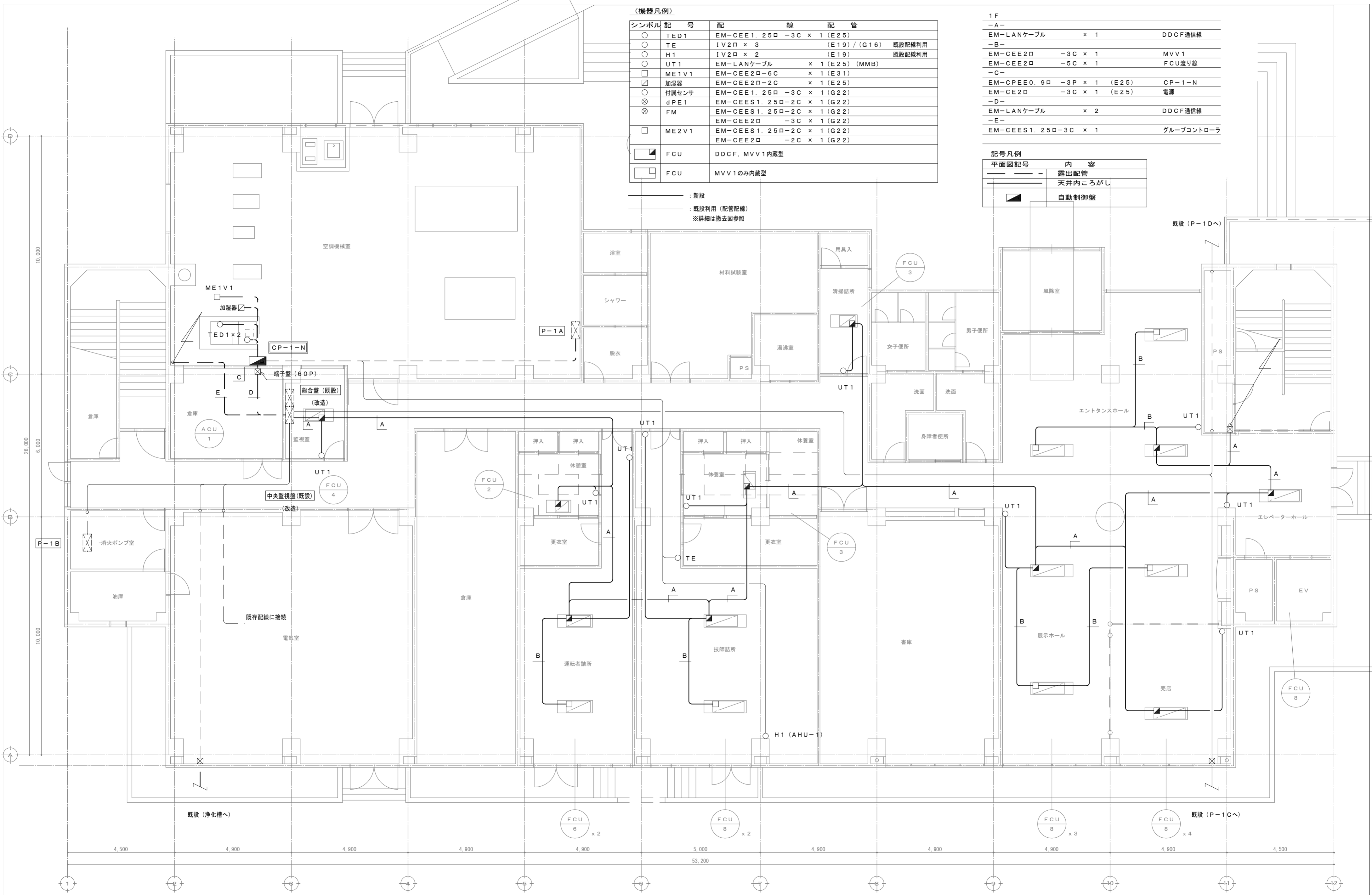
— : 新設  
 - - : 既設利用 (配管配線)  
 ※詳細は撤去図参照

1F

-A-	EM-LANケーブル x 1	DDCF通信線
-B-	EM-CEE20 -3C x 1	MVV1
-C-	EM-CEE20 -5C x 1	FCU渡り線
-D-	EM-CPEE0. 90 -3P x 1 (E25)	CP-1-N
-E-	EM-CE20 -3C x 1 (E25)	電源
-D-	EM-LANケーブル x 2	DDCF通信線
-E-	EM-CEES1. 250-3C x 1	グループコントローラ

記号凡例

平面図記号	内容
—	露出配管
- -	天井内こがし
□	自動制御盤



(機器凡例)

シンボル	記号	配線	配管
○	TED1	EM-CEE1. 250 -3C x 1 (E25)	
○	TE	1V20 x 3 (E19) / (G16)	既設配線利用
○	H1	1V20 x 2 (E19)	既設配線利用
○	UT1	EM-EM-LANケーブル x 1 (E25) (MMB)	
□	ME1V1	EM-CEE20-6C x 1 (E31)	
□	加湿器	EM-CEE20-2C x 1 (E25)	
○	付属センサ	EM-CEE1. 250 -3C x 1 (G22)	
⊗	dPE1	EM-CEES1. 250 -2C x 1 (G22)	
⊗	FM	EM-CEES1. 250 -2C x 1 (G22)	
□	ME2V1	EM-CEE20 -3C x 1 (G22)	
□		EM-CEE20 -2C x 1 (G22)	
□	FCU	DDCF. MVV1内蔵型	
□	FCU	MVV1のみ内蔵型	

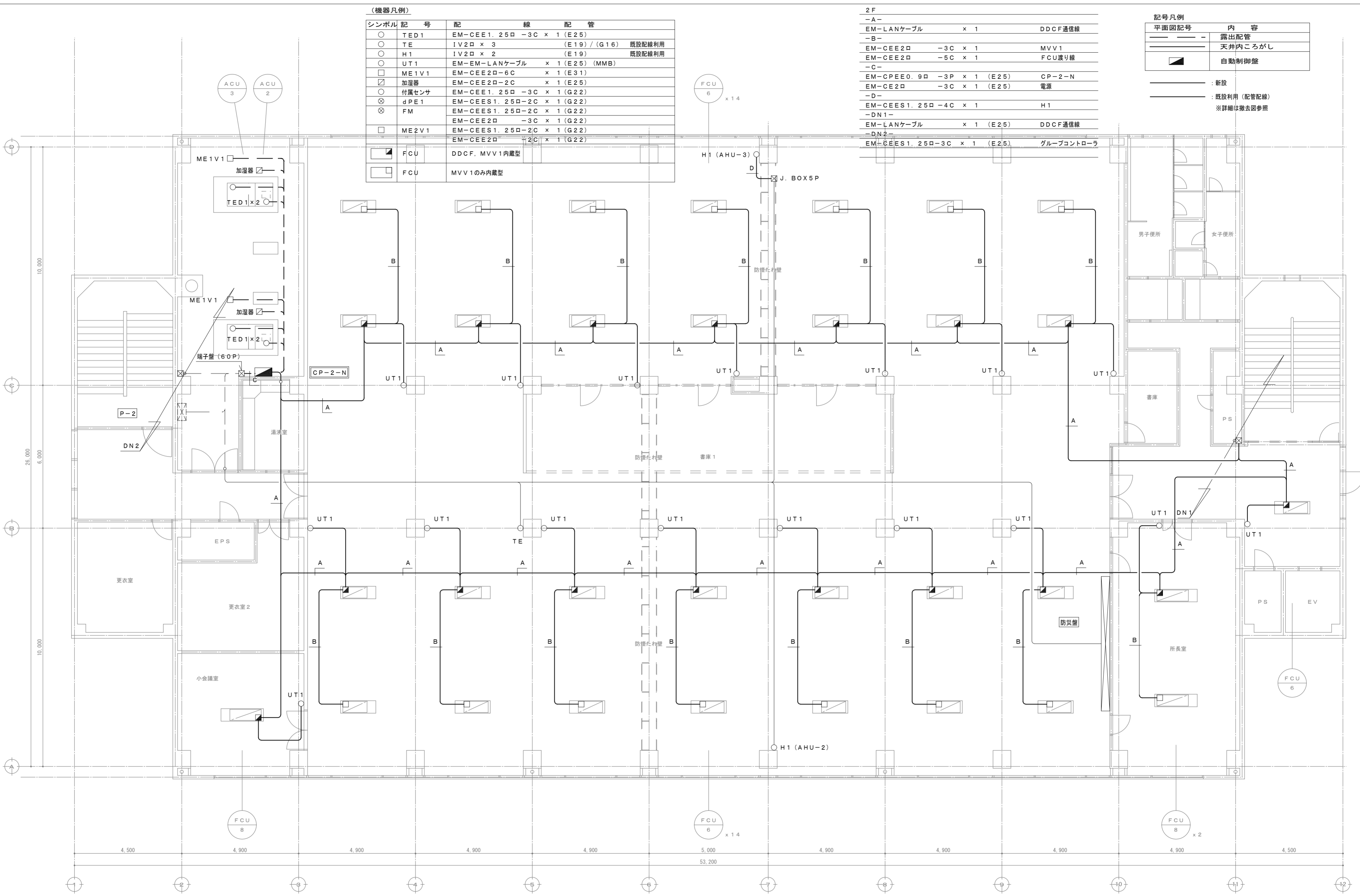
2F

-A-	EM-LANケーブル x 1	DDCF通信線
-B-	EM-CEE20 -3C x 1	MVV1
-C-	EM-CEE20 -5C x 1	FCU渡り線
-D-	EM-CPPE0. 90 -3P x 1 (E25)	CP-2-N
-DN1-	EM-CE20 -3C x 1 (E25)	電源
-DN2-	EM-LANケーブル x 1 (E25)	DDCF通信線
-DN2-	EM-CEES1. 250 -4C x 1	H1
	EM-LANケーブル x 1 (E25)	DDCF通信線
	EM-CEES1. 250 -3C x 1 (E25)	グループコントローラ

記号凡例

平面図記号	内容
—	露出配管
—	天井内ころがし
▲	自動制御盤

— : 新設  
 — : 既設利用 (配管配線)  
 ※詳細は撤去図参照



(機器凡例)

シンボル記号	配線	配管
○	TED1	EM-CEE1. 25口 -3C x 1 (E25)
○	TE	1V2口 x 3 (E19) / (G16) 既設配線利用
○	H1	1V2口 x 2 (E19) 既設配線利用
○	UT1	EM-EM-LANケーブル x 1 (E25) (MMB)
□	ME1V1	EM-CEE2口-6C x 1 (E31)
□	加湿器	EM-CEE2口-2C x 1 (E25)
○	付属センサ	EM-CEE1. 25口 -3C x 1 (G22)
⊗	dPE1	EM-CEES1. 25口-2C x 1 (G22)
⊗	FM	EM-CEES1. 25口-2C x 1 (G22)
□	ME2V1	EM-CEE2口 -3C x 1 (G22)
□	FCU	DDCF, MVV1内蔵型
□	FCU	MVV1のみ内蔵型

記号凡例

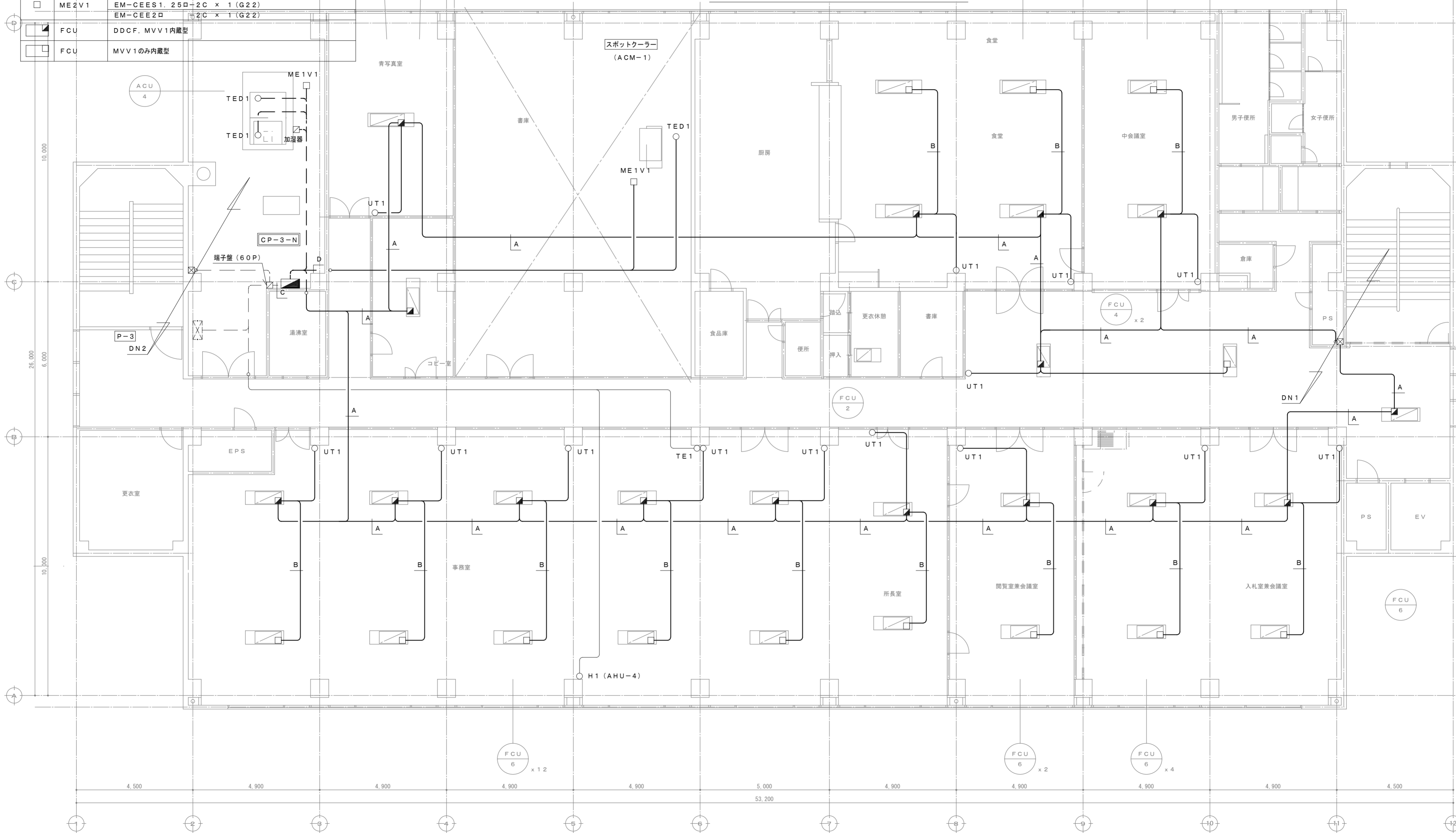
平面図記号	内容
—	露出配管
—	天井内ころがし
▲	自動制御盤

— : 新設  
 — : 既設利用 (配管配線)  
 ※詳細は撤去図参照

3F

-A-	EM-LANケーブル x 1	DDCF通信線
-B-	EM-CEE2口 -3C x 1	MVV1
-C-	EM-CEE2口 -5C x 1	FCU渡り線
-D-	EM-CPEE0. 9口 -3P x 1 (E25)	CP-3-N
-E-	EM-CE2口 -3C x 1 (E25)	電源
-F-	EM-CEE2口 -6C x 1 (E39)	ME1V1
-G-	EM-CEE1. 25口 -3C x 1	TED1

-DN1-	EM-LANケーブル x 1 (E25)	DDCF通信線
-DN2-	EM-CEES1. 25口-3C x 1 (E25)	グループコントローラ



徳島県土整備部営繕課

●工事名  
R6 営繕 徳島県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調

●図面名  
自動制御設備 3階平面図 (改修後) 【参考】

●図面番号  
AC-39

●縮尺  
A2: 1/100  
A3: 1/141

株式会社 ACE 設計

〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198

(機器凡例)

シンボル記号	記号	配線	配管
○	TED1	EM-CEE1. 250 -3C x 1 (E25)	
○	TE	1V20 x 3 (E19) / (G16)	既設配線利用
○	H1	1V20 x 2 (E19)	既設配線利用
○	UT1	EM-EM-LANケーブル x 1 (E25) (MMB)	
□	ME1V1	EM-CEE20-6C x 1 (E31)	
□	加湿器	EM-CEE20-2C x 1 (E25)	
○	付属センサ	EM-CEE1. 250 -3C x 1 (G22)	
⊗	dPE1	EM-CEES1. 250-2C x 1 (G22)	
⊗	FM	EM-CEES1. 250-2C x 1 (G22)	
		EM-CEE20 -3C x 1 (G22)	
□	ME2V1	EM-CEES1. 250-2C x 1 (G22)	
		EM-CEE20 -2C x 1 (G22)	
○	FCU	DDCF-MVV1内蔵型	
○	FCU	MVV1のみ内蔵型	

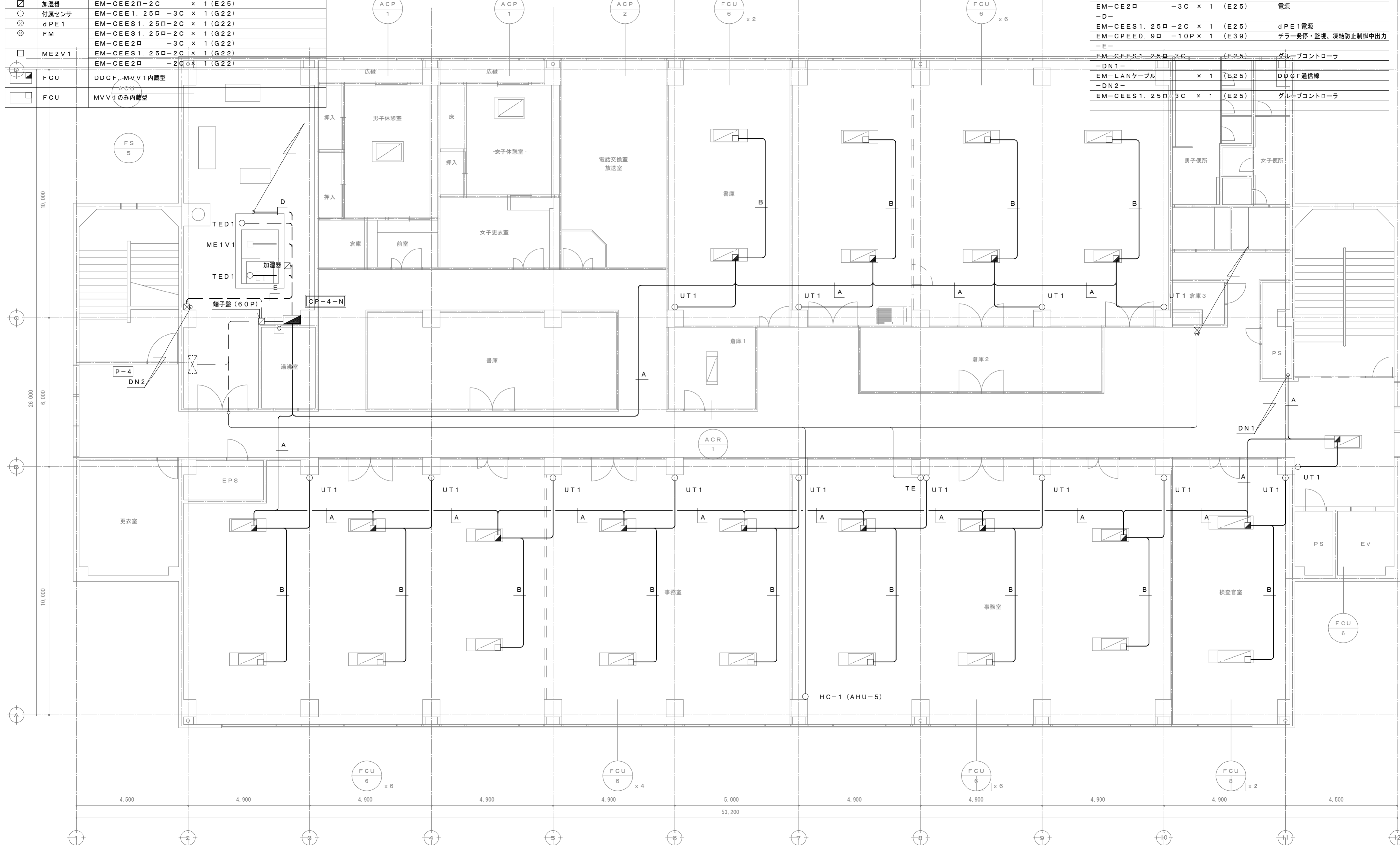
記号凡例

平面図記号	内容
—	露出配管
—	天井内ころがし
■	自動制御盤

— : 新設  
 — : 既設利用 (配管配線)  
 ※詳細は撤去図参照

4 F

-A-	EM-LANケーブル x 1	DDCF通信線
-B-	EM-CEE20 -3C x 1	MVV1
-C-	EM-CEE20 -5C x 1	FCU渡り線
-D-	EM-CPEE0. 90 -3P x 1 (E25)	CP-4-N
-E-	EM-CE20 -3C x 1 (E25)	電源
-D-	EM-CEES1. 250 -2C x 1 (E25)	dPE1電源
-E-	EM-CPEE0. 90 -10P x 1 (E39)	チラー発停・監視・凍結防止制御中出力
-E-	EM-CEES1. 250 -3C (E25)	グループコントローラ
-DN1-	EM-LANケーブル x 1 (E25)	DDCF通信線
-DN2-	EM-CEES1. 250 -3C x 1 (E25)	グループコントローラ





(機器凡例)

シンボル	記号	配線	配管
○	TED1	EM-CEE1.250-3C x 1 (E25)	
○	TE	IV20 x 3 (E19) / (G16)	既設配線利用
○	H1	IV20 x 2 (E19)	既設配線利用
○	UT1	EM-LANケーブル x 1 (E25)	(MMB)
□	ME1V1	EM-CEE20-6C x 1 (E31)	
□	加湿器	EM-CEE20-2C x 1 (E25)	
○	付属センサ	EM-CEE1.250-3C x 1 (G22)	
⊗	dPE1	EM-CEES1.250-2C x 1 (G22)	
⊗	FM	EM-CEES1.250-2C x 1 (G22)	
□	ME2V1	EM-CEE20-3C x 1 (G22)	
□	ME2V1	EM-CEES1.250-2C x 1 (G22)	
□	ME2V1	EM-CEE20-2C x 1 (G22)	
■	FCU	DDCF, MVV1内蔵型	
□	FCU	MVV1のみ内蔵型	

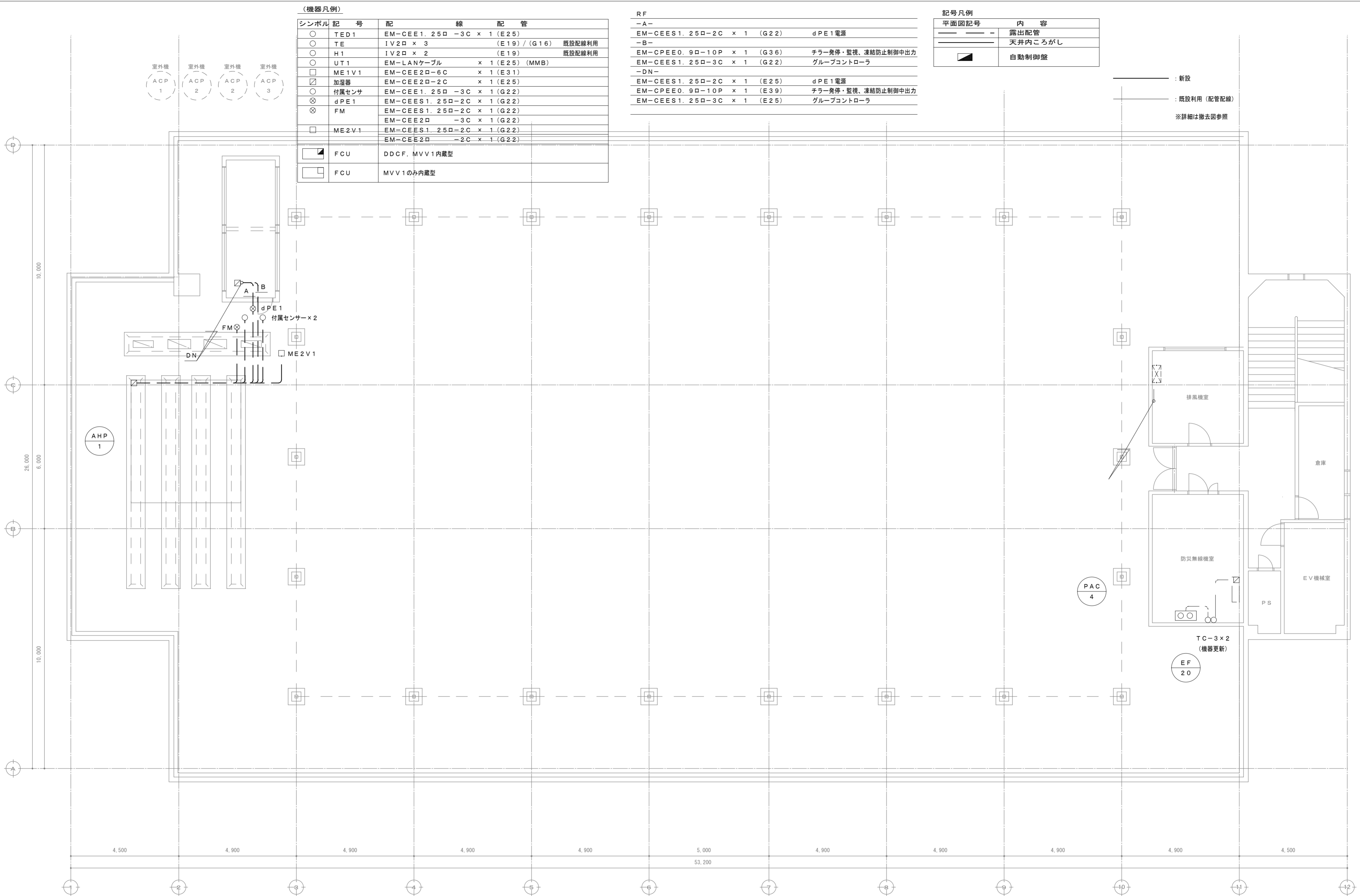
RF

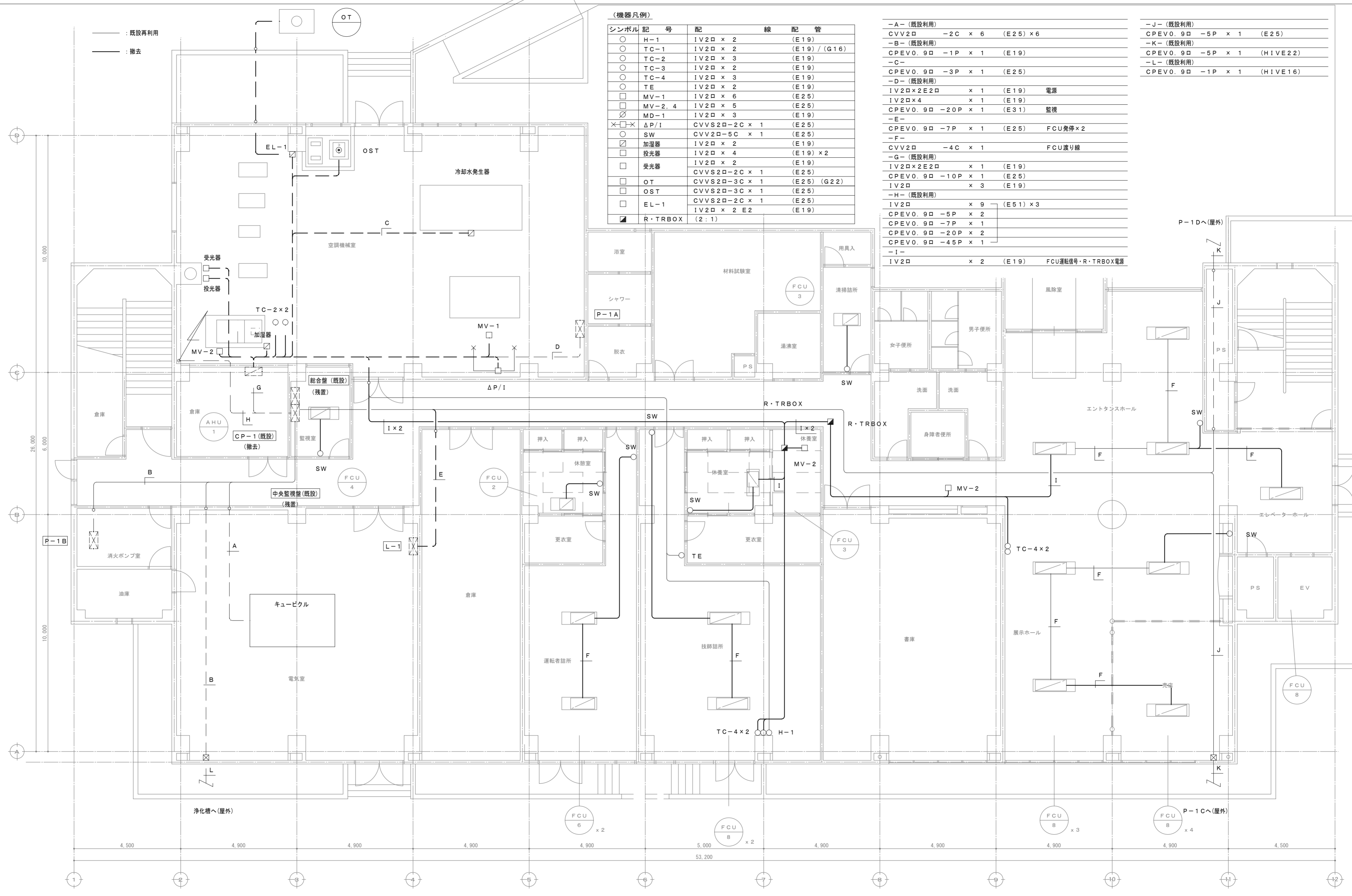
-A-	EM-CEES1.250-2C x 1 (G22)	dPE1電源
-B-	EM-CPEE0.90-10P x 1 (G36)	チラー発停・監視、凍結防止制御中出力
	EM-CEES1.250-3C x 1 (G22)	グループコントローラ
-DN-	EM-CEES1.250-2C x 1 (E25)	dPE1電源
	EM-CPEE0.90-10P x 1 (E39)	チラー発停・監視、凍結防止制御中出力
	EM-CEES1.250-3C x 1 (E25)	グループコントローラ

記号凡例

平面図記号	内容
— — — — —	露出配管
— — — — —	天井内ころがし
■	自動制御盤

— — — — — : 新設  
 — — — — — : 既設利用 (配管配線)  
 ※詳細は撤去図参照



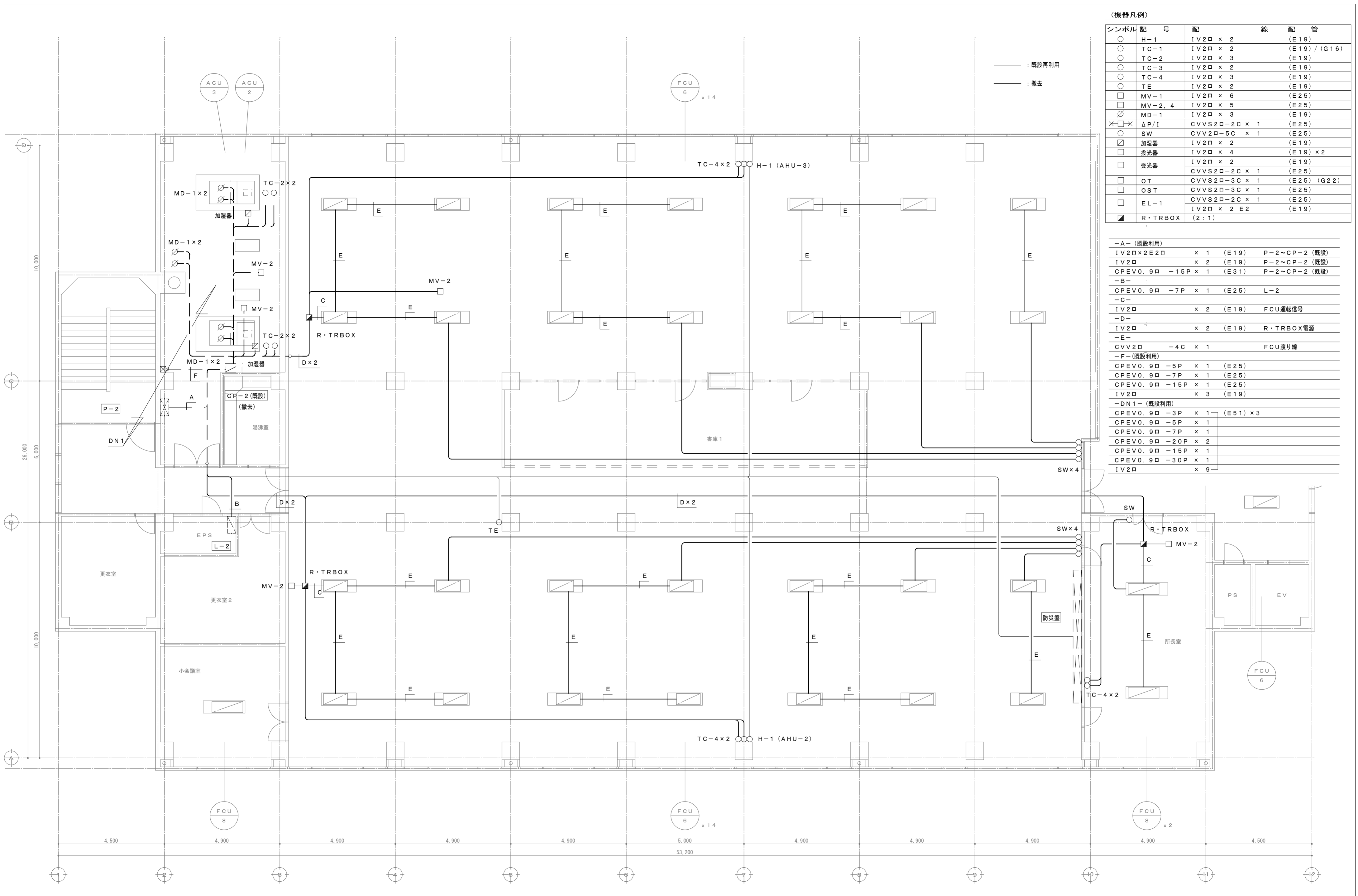


(機器凡例)

シンボル	記号	配線	配管
○	H-1	1V2φ × 2	(E19)
○	TC-1	1V2φ × 2	(E19) / (G16)
○	TC-2	1V2φ × 3	(E19)
○	TC-3	1V2φ × 2	(E19)
○	TC-4	1V2φ × 3	(E19)
○	TE	1V2φ × 2	(E19)
□	MV-1	1V2φ × 6	(E25)
□	MV-2, 4	1V2φ × 5	(E25)
□	MD-1	1V2φ × 3	(E19)
△	ΔP/I	CVVS2φ-2C × 1	(E25)
○	SW	CVV2φ-5C × 1	(E25)
□	加湿器	1V2φ × 2	(E19)
□	投光器	1V2φ × 4	(E19) × 2
□	受光器	1V2φ × 2	(E19)
□	OT	CVVS2φ-3C × 1	(E25) (G22)
□	OST	CVVS2φ-3C × 1	(E25)
□	EL-1	CVVS2φ-2C × 1	(E25)
■	R・TRBOX	1V2φ × 2 E2	(E19)
■	R・TRBOX	(2:1)	

-A-	(既設利用)
CVV2φ	-2C × 6 (E25) × 6
-B-	(既設利用)
CPEV0.9φ	-1P × 1 (E19)
-C-	
CPEV0.9φ	-3P × 1 (E25)
-D-	(既設利用)
1V2φ × 2 E2φ	× 1 (E19) 電源
1V2φ × 4	× 1 (E19)
CPEV0.9φ	-20P × 1 (E31) 監視
-E-	
CPEV0.9φ	-7P × 1 (E25) FCU発停 × 2
-F-	
CVV2φ	-4C × 1 FCU渡り線
-G-	(既設利用)
1V2φ × 2 E2φ	× 1 (E19)
CPEV0.9φ	-10P × 1 (E25)
1V2φ	× 3 (E19)
-H-	(既設利用)
1V2φ	× 9 (E51) × 3
CPEV0.9φ	-5P × 2
CPEV0.9φ	-7P × 1
CPEV0.9φ	-20P × 2
CPEV0.9φ	-45P × 1
-I-	
1V2φ	× 2 (E19) FCU運転番号・R・TRBOX電源

-J-	(既設利用)
CPEV0.9φ	-5P × 1 (E25)
-K-	(既設利用)
CPEV0.9φ	-5P × 1 (HIVE22)
-L-	(既設利用)
CPEV0.9φ	-1P × 1 (HIVE16)



(機器凡例)

シンボル	記号	配	線配管
○	H-1	IV2□ × 2	(E19)
○	TC-1	IV2□ × 2	(E19) / (G16)
○	TC-2	IV2□ × 3	(E19)
○	TC-3	IV2□ × 2	(E19)
○	TC-4	IV2□ × 3	(E19)
○	TE	IV2□ × 2	(E19)
□	MV-1	IV2□ × 6	(E25)
□	MV-2, 4	IV2□ × 5	(E25)
□	MD-1	IV2□ × 3	(E19)
□	ΔP/1	CVVS2□-2C × 1	(E25)
○	SW	CVV2□-5C × 1	(E25)
□	加湿器	IV2□ × 2	(E19)
□	投光器	IV2□ × 4	(E19) × 2
□	受光器	IV2□ × 2	(E19)
□	OT	CVVS2□-3C × 1	(E25) (G22)
□	OST	CVVS2□-3C × 1	(E25)
□	EL-1	CVVS2□-2C × 1	(E25)
■	R・TRBOX	IV2□ × 2 E2	(E19)

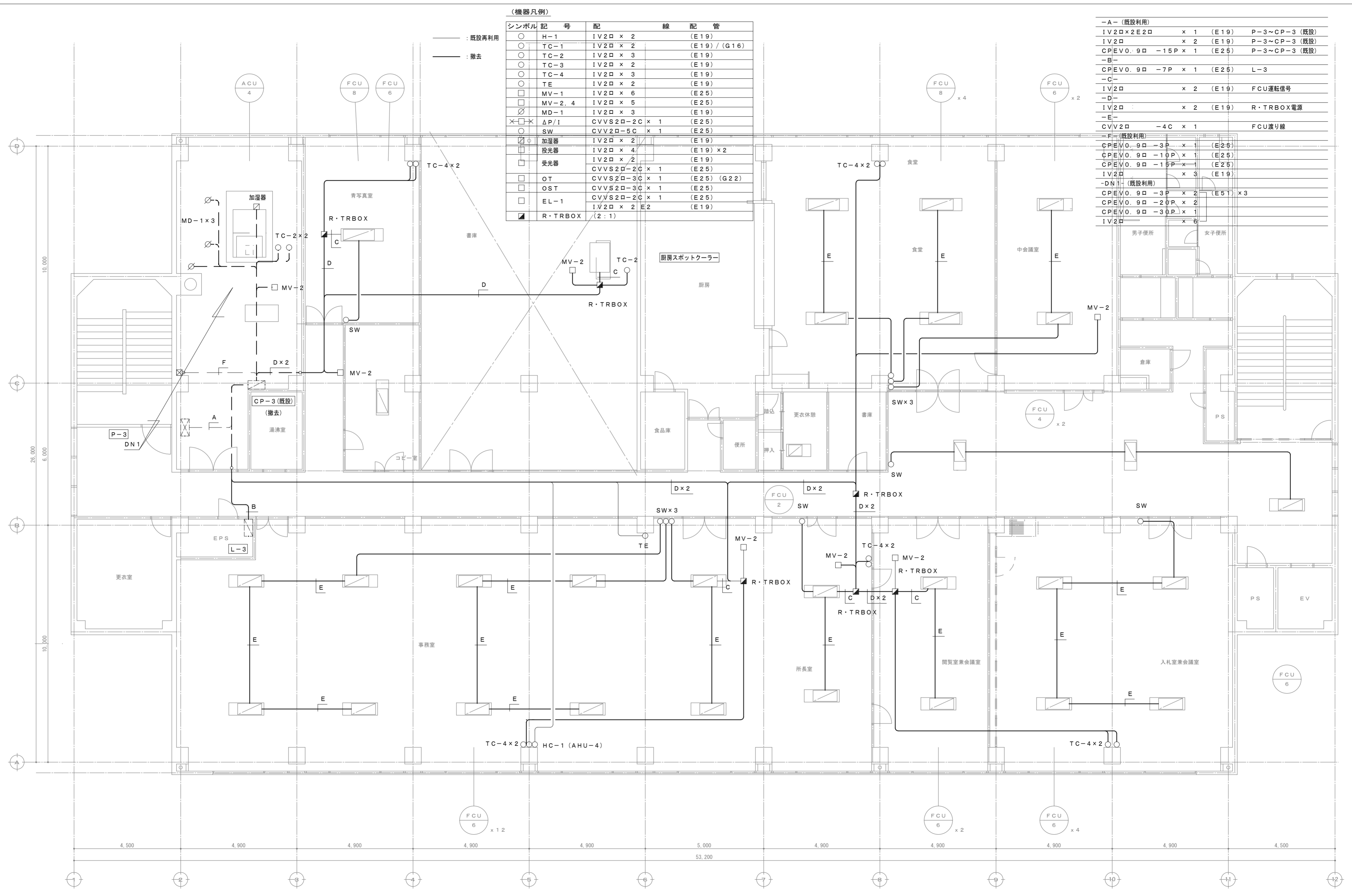
Legend for lines:

- A- (既設利用)
- IV2□ × 2 E2□ × 1 (E19) P-2~CP-2 (既設)
- IV2□ × 2 (E19) P-2~CP-2 (既設)
- CPEV0.9□ -15P × 1 (E31) P-2~CP-2 (既設)
- B-
- CPEV0.9□ -7P × 1 (E25) L-2
- C-
- IV2□ × 2 (E19) FCU運転信号
- D-
- IV2□ × 2 (E19) R・TRBOX電源
- E-
- CVV2□ -4C × 1 FCU渡り線
- F- (既設利用)
- CPEV0.9□ -5P × 1 (E25)
- CPEV0.9□ -7P × 1 (E25)
- CPEV0.9□ -15P × 1 (E25)
- IV2□ × 3 (E19)
- DN1- (既設利用)
- CPEV0.9□ -3P × 1 (E51) × 3
- CPEV0.9□ -5P × 1
- CPEV0.9□ -7P × 1
- CPEV0.9□ -20P × 2
- CPEV0.9□ -15P × 1
- CPEV0.9□ -30P × 1
- IV2□ × 9

(機器凡例)

シンボル	記号	配線	配管
○	H-1	1V2φ x 2	(E19)
○	TC-1	1V2φ x 2	(E19) / (G16)
○	TC-2	1V2φ x 3	(E19)
○	TC-3	1V2φ x 2	(E19)
○	TC-4	1V2φ x 3	(E19)
○	TE	1V2φ x 2	(E19)
□	MV-1	1V2φ x 6	(E25)
□	MV-2, 4	1V2φ x 5	(E25)
□	MD-1	1V2φ x 3	(E19)
△	ΔP/I	CVVS2φ-2C x 1	(E25)
□	SW	CVV2φ-5C x 1	(E25)
□	加湿器	1V2φ x 2	(E19)
□	投光器	1V2φ x 4	(E19) x 2
□	受光器	1V2φ x 2	(E19)
□	OT	CVVS2φ-3C x 1	(E25) (G22)
□	OST	CVVS2φ-3C x 1	(E25)
□	EL-1	CVVS2φ-2C x 1	(E25)
■	R・TRBOX	1V2φ x 2 E2	(E19)

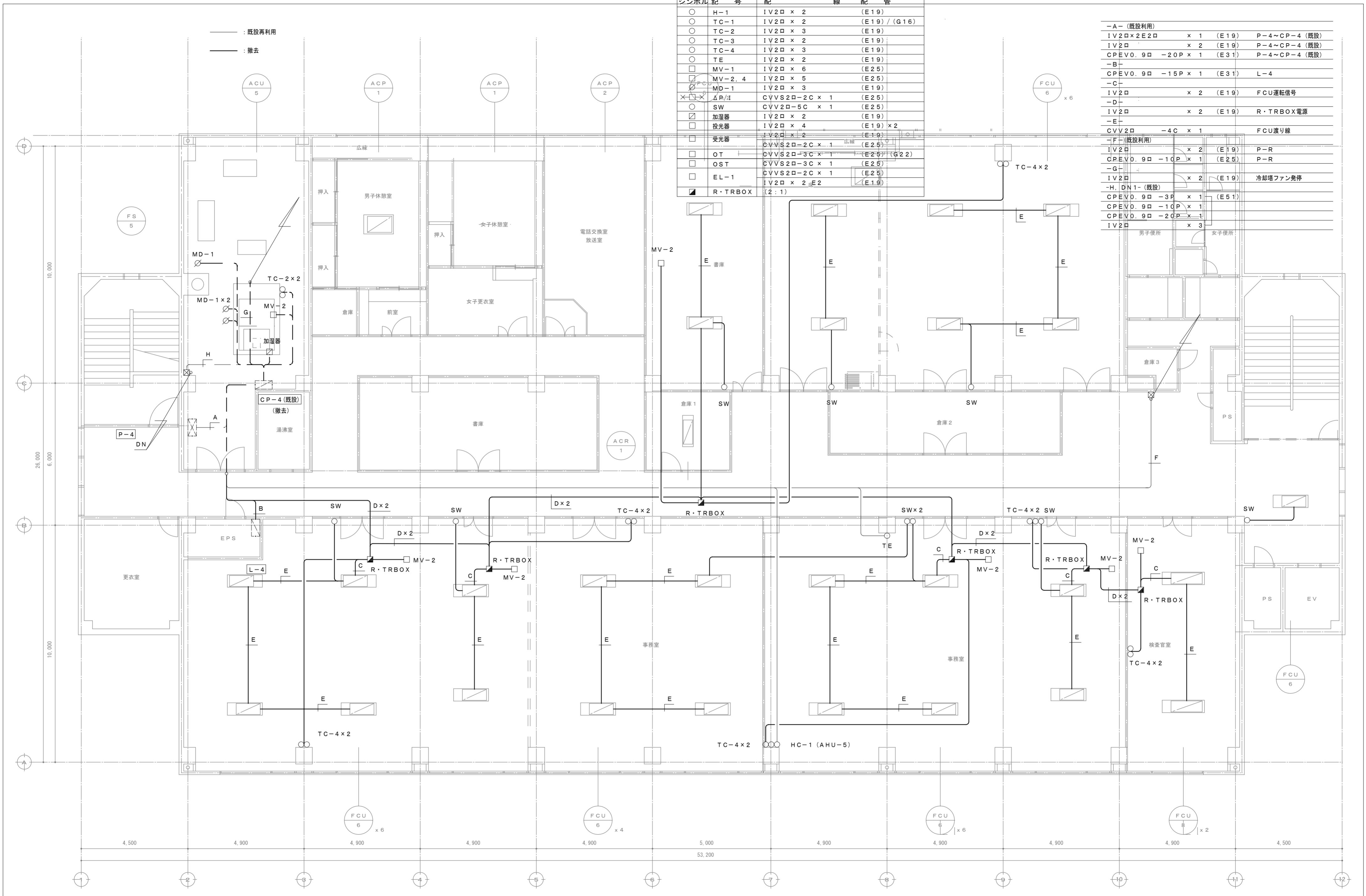
-A-	(既設利用)		
1V2φ x 2 E2φ	x 1	(E19)	P-3~CP-3 (既設)
1V2φ	x 2	(E19)	P-3~CP-3 (既設)
CPEV0.9φ -15P	x 1	(E25)	P-3~CP-3 (既設)
-B-			
CPEV0.9φ -7P	x 1	(E25)	L-3
-C-			
1V2φ	x 2	(E19)	FCU運転信号
-D-			
1V2φ	x 2	(E19)	R・TRBOX電源
-E-			
CVV2φ	-4C x 1		FCU渡り線
-F-	(既設利用)		
CPEV0.9φ -3P	x 1	(E25)	
CPEV0.9φ -10P	x 1	(E25)	
CPEV0.9φ -15P	x 1	(E25)	
1V2φ	x 3	(E19)	
-DN1-	(既設利用)		
CPEV0.9φ -3P	x 2	(E51)	x 3
CPEV0.9φ -20P	x 2		
CPEV0.9φ -30P	x 1		
1V2φ	x 6		



(機器凡例)

シンボル	記号	配管	線	配管
○	H-1	1V2φ x 2	(E19)	
○	TC-1	1V2φ x 2	(E19)	(G16)
○	TC-2	1V2φ x 3	(E19)	
○	TC-3	1V2φ x 2	(E19)	
○	TC-4	1V2φ x 3	(E19)	
○	TE	1V2φ x 2	(E19)	
□	MV-1	1V2φ x 6	(E25)	
□	MV-2, 4	1V2φ x 5	(E25)	
□	MD-1	1V2φ x 3	(E19)	
△	R/A	CVVS2φ-2C x 1	(E25)	
○	SW	CVV2φ-5C x 1	(E25)	
□	加湿器	1V2φ x 2	(E19)	
□	投光器	1V2φ x 4	(E19)	x 2
□	受光器	1V2φ x 2	(E19)	
□	OT	CVVS2φ-3C x 1	(E25)	(G22)
□	O/S	CVVS2φ-3C x 1	(E25)	
□	EL-1	CVVS2φ-2C x 1	(E25)	
■	R・TRBOX	1V2φ x 2	(E19)	

-A-	(既設利用)		
1V2φ x 2	E2φ	x 1	(E19) P-4~CP-4 (既設)
1V2φ		x 2	(E19) P-4~CP-4 (既設)
CPEV0.9φ	-20P	x 1	(E31) P-4~CP-4 (既設)
-B-			
CPEV0.9φ	-15P	x 1	(E31) L-4
-C-			
1V2φ		x 2	(E19) FCU運転信号
1V2φ		x 2	(E19) R・TRBOX電源
-E-			
CVV2φ	-4C	x 1	FCU渡り線
-F-	(既設利用)		
1V2φ		x 2	(E19) P-R
CPEV0.9φ	-10P	x 1	(E25) P-R
-G-			
1V2φ		x 2	(E19) 冷却塔ファン発停
-H-	DN1-	(既設)	
CPEV0.9φ	-3P	x 1	(E51)
CPEV0.9φ	-10P	x 1	
CPEV0.9φ	-20P	x 1	
1V2φ		x 3	男子便所 女子便所



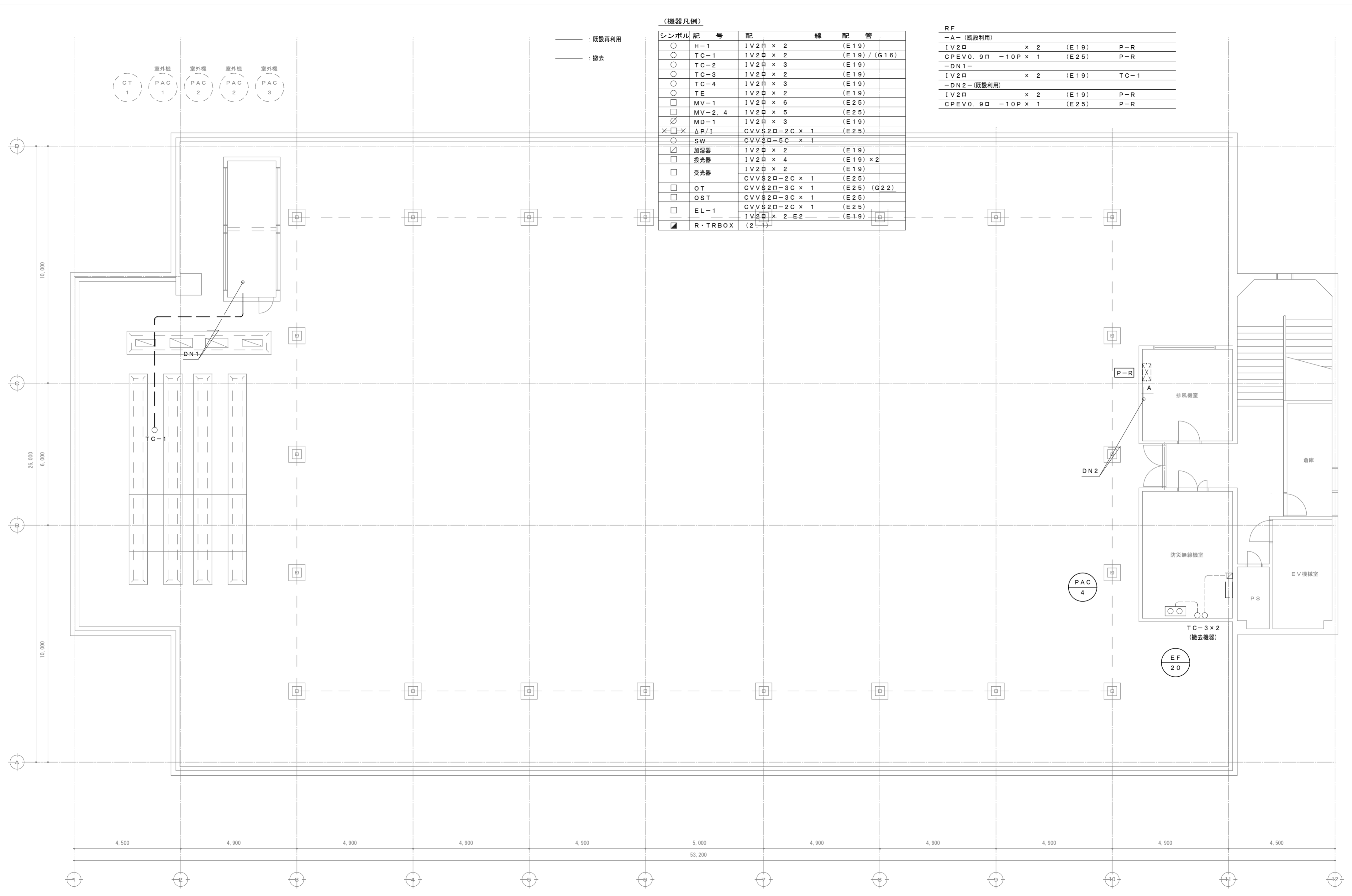
(機器凡例)

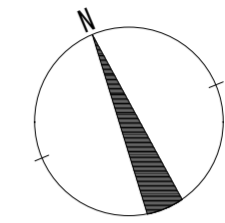
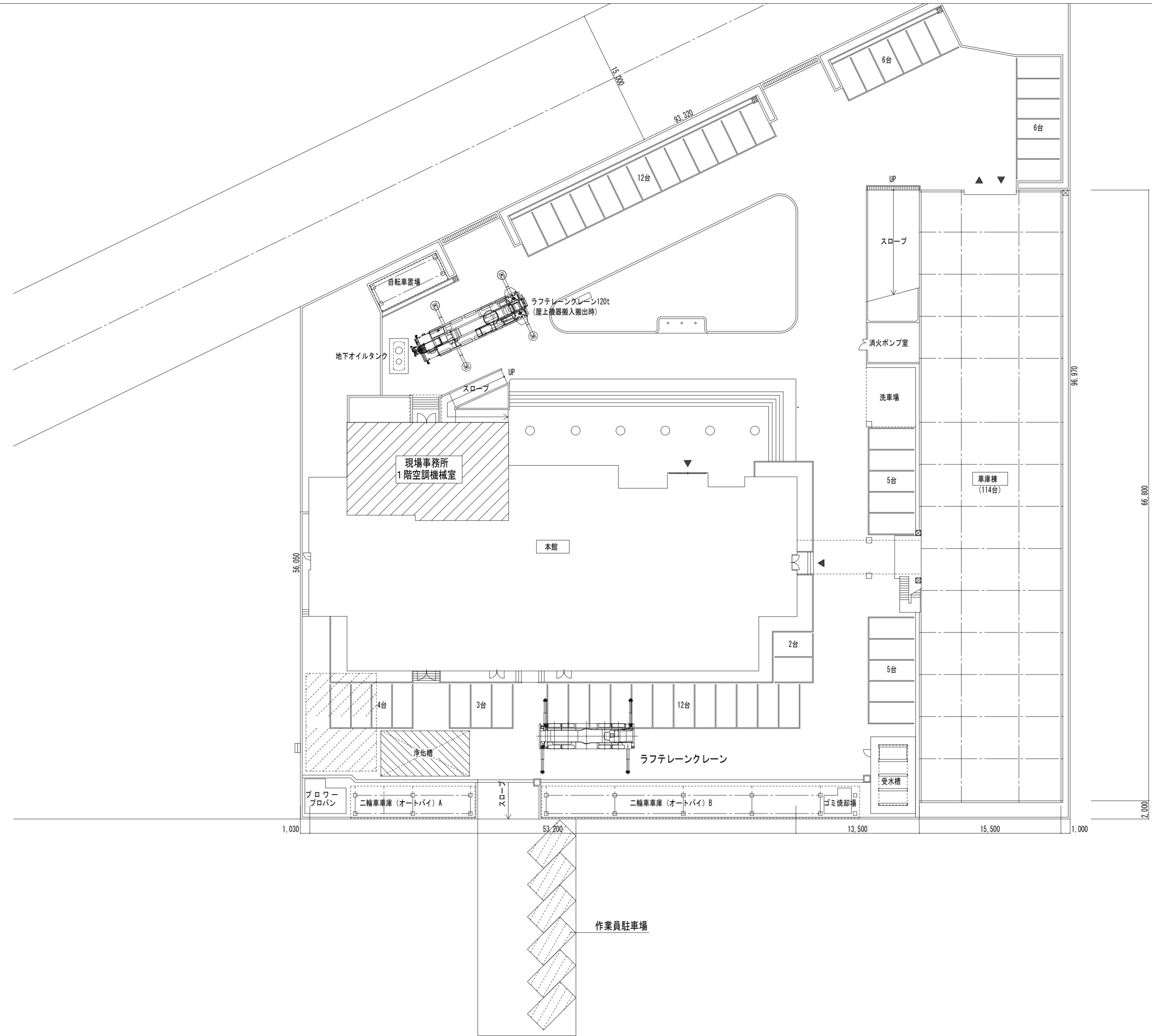
シンボル	記号	配	線	配管
○	H-1	IV2□ x 2	(E19)	
○	TC-1	IV2□ x 2	(E19) / (G16)	
○	TC-2	IV2□ x 3	(E19)	
○	TC-3	IV2□ x 2	(E19)	
○	TC-4	IV2□ x 3	(E19)	
○	TE	IV2□ x 2	(E19)	
□	MV-1	IV2□ x 6	(E25)	
□	MV-2, 4	IV2□ x 5	(E25)	
□	MD-1	IV2□ x 3	(E19)	
×□×	ΔP/1	CVVS2□-2C x 1	(E25)	
○	SW	CVV2□-5C x 1		
□	加湿器	IV2□ x 2	(E19)	
□	投光器	IV2□ x 4	(E19) x 2	
□	受光器	IV2□ x 2	(E19)	
□	OT	CVVS2□-2C x 1	(E25)	
□	OST	CVVS2□-3C x 1	(E25) (G22)	
□	EL-1	CVVS2□-2C x 1	(E25)	
■	R・TRBOX	IV2□ x 2-E2	(E19)	

RF

-A-	(既設利用)		
IV2□	x 2	(E19)	P-R
CPEV0.9□	-10P x 1	(E25)	P-R
-DN1-			
IV2□	x 2	(E19)	TC-1
-DN2-	(既設利用)		
IV2□	x 2	(E19)	P-R
CPEV0.9□	-10P x 1	(E25)	P-R

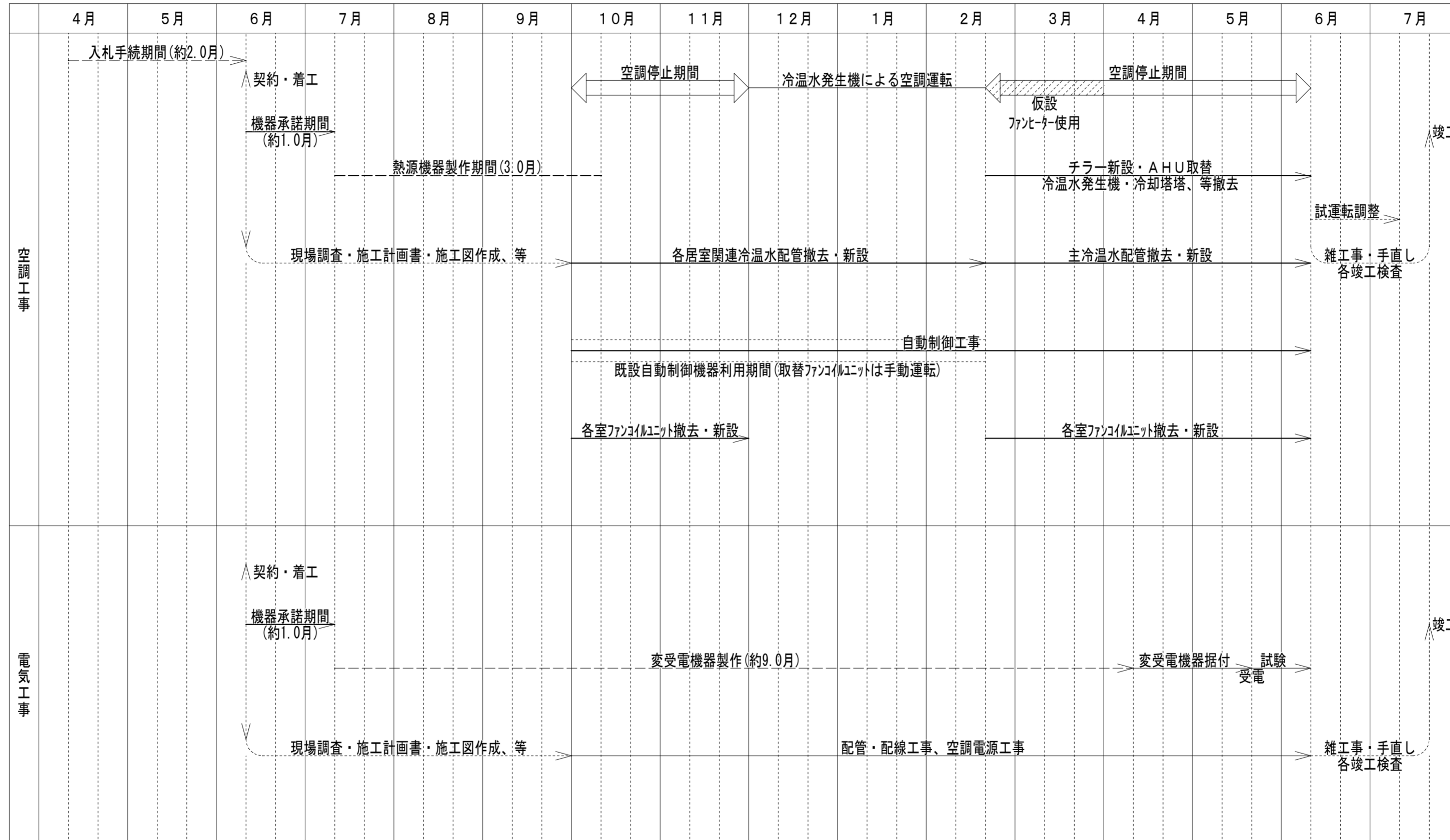
— : 既設再利用  
 - - - : 撤去





徳島県土整備部営繕課	●工事名	R 6 営繕 東部県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調	●図面番号	AC-47	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198
	●図面名	仮設計画図	●縮尺	A2 : 1/300 A3 : 1/423	

東部県土整備局徳島庁舎 空調設備改修工事 参考工程表



(注記)

1. 入札・契約時期は参考とする

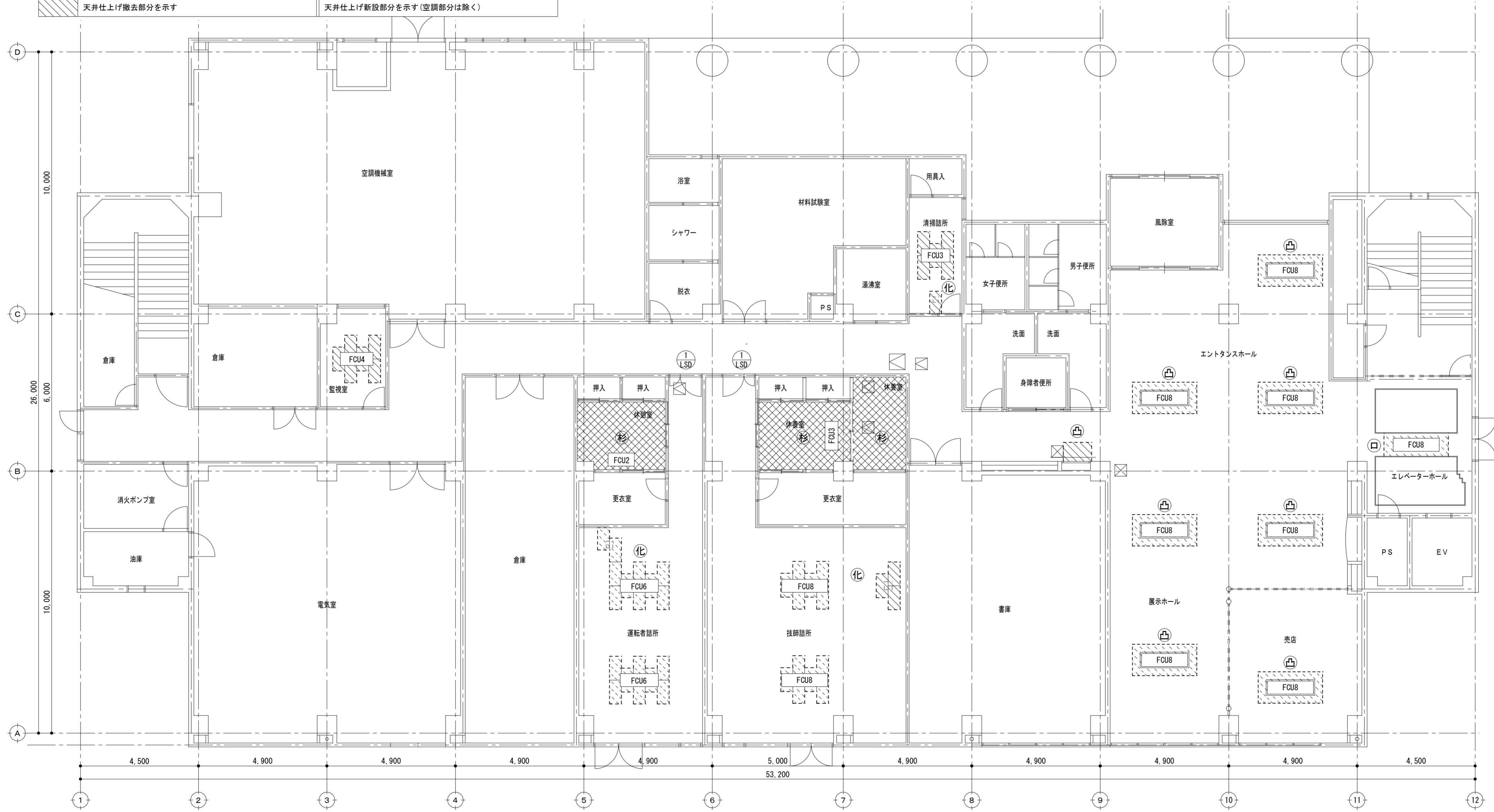


1章 鉄骨工事	2章 内装改修工事	4章 環境配慮(グリーン)改修工事																																																																																																																																																																					
<p>① 一般事項</p> <p>◎製作工場は、国土交通大臣の認定による( R )グレード工場とし、その証明となる資料を監督職員に提出する。</p> <p>◎鉄骨製作工場には施工管理技術者を(置く・置かなくともよい)。</p> <p>◎工事現場には、鉄骨製作工場名等を記載した板(30～35×45cm)(H.4.9.30 住指発第347号)を掲示すること。</p> <p>② 材料</p> <p>◎鋼材は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>規格番号・規格名称等</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>一般構造用圧延鋼材</td> <td>架台</td> </tr> </table> <p>◎溶接材料は、母材の種類、寸法及び溶接条件に相応したもので、製作工場の通常使用のものとする。</p> <p>③ 材料試験</p> <p>◎JIS規格品は、材料試験は行わない。 ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎板厚方向の引張試験を(行う・行わない)。</p> <p>④ 工作一般</p> <p>◎高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は図示による。</p> <p>◎床書き現寸図は作成(する・しない)。</p> <p>◎鉄骨の製作精度は、改修標準仕様書7.3.3及びH12建告第1464号第二号イによる。 H12建告第1464号第二号イ(1)(2)のただし書きによる補強は、「突き合わせ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」による。</p> <p>◎仮設のため鉄骨に補助材等取付け及び貫通孔等を設ける場合は、工場溶接を原則とし、現場溶接となる場合は監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎仮組を(実施する・実施しない)。</p> <p>⑤ 高力ボルト接合</p> <p>◎すべり係数試験は(行う・行わない)。 ただし、溶融亜鉛めっき工法の場合は、「9.溶融亜鉛めっき工法」によるものとする。</p> <p>◎ショットブラスト又はグリットブラストにより摩擦面の表面粗度を50μmRz以上確保する場合の表面粗度の確認方法は次のいずれかによる。 (1) 表面粗度測定機による測定 (2) プラスト機器の性能表による確認 (3) スプライスプレート販売元からの表面粗度検査結果証明書による確認 上記の方法により確認できない場合は、すべり係数試験(サンプル試験)を行い、すべり係数値0.45以上を確認すること。</p> <p>◎高力ボルトを工事現場に搬入後、JIS形高力ボルトは、トルク係数値の確認試験を(行う・行わない)。</p> <p>◎確認試験の数量は、呼び径ごとに代表ロットを選び、その中から任意に取り出した5セットとする。</p> <p>◎締付け施工法の確認は、JASS6 6.3〔締付け施工法の確認〕に準じる。</p> <p>◎原則として本接合ボルトを仮ボルトとして使用しないこと。</p> <p>◎仮ボルトの本数は標仕7.10.5(2)～(4)とし、本接合完了までの応力に対して検討を行うこと。</p> <p>⑥ 工事現場施工</p> <p>◎鉄骨建方の精度は、(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書-6.鉄骨工事付則-6.鉄骨検査基準」による。ただし以下のものは図面による。 ・特に精度を必要とする構造物あるいは構造物の部分。 ・軽微な構造物あるいは構造物の部分。</p> <p>⑦ 溶融亜鉛めっき工法</p> <p>◎摩擦面の処理は、(プラスト処理・リン酸塩処理)とする。</p> <p>◎プラスト処理とする場合は、5.高力ボルト接合同様の方法で表面粗度50μmRz以上の確認を行う。</p> <p>◎リン酸塩処理とする場合は、すべり耐力等を確認するものとし、確認方法は(すべり試験)とする。 すべり試験の要領は、溶融亜鉛めっき高力ボルト技術協会の「めっき高力ボルト接合設計施工指針」に</p> <p>⑧ 溶融亜鉛めっき工法</p> <p>◎溶融亜鉛めっきの種類は次による。 種別:A種、規格番号:JIS H 8641,規格名称:溶融亜鉛めっき、めっきの種類:2種、記号又は等級:HD255,板厚:6mm以上 種別:B種、規格番号:JIS H 8641,規格名称:溶融亜鉛めっき、めっきの種類:2種、記号又は等級:HD245,板厚:3.2mm以上 種別:C種、規格番号:JIS H 8641,規格名称:溶融亜鉛めっき、めっきの種類:2種、記号又は等級:HD235,板厚:1.6mm以上</p> <p>◎溶融亜鉛めっきの仕上がりは、JIS H 8641に準じ、標仕 表14.2.3による。 また、溶融亜鉛めっきの欠陥部の補修は、標仕 表14.2.4による。</p> <p>⑨ あと施工アンカー工事 (耐震改修工事に伴うものを除く)</p> <p>◎あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承諾を受けること。</p> <p>◎埋込み配管等に当たった場合は、直ちに穿孔を中止し、監督員に報告し指示を受けること。</p> <p>◎鉄筋等に当たった場合は、穿孔を中止し、付近の位置に再穿孔を行うこと。中止した孔は、モルタルで充てんすること。</p> <p>◎施工確認試験を(行う・行わない)。試験方法は標仕14.1.3(エ)による。</p> <p>◎あと施工アンカーは(金属系アンカー・接着系アンカー)とする。 ・接着系アンカー 設備機器決定後計算を行い、監督員の承諾を受ける。 アンカーの種類はカプセル型(ガラス製)とする。</p>	種類の記号	規格番号・規格名称等	適用箇所	SS400	一般構造用圧延鋼材	架台	<p>① 一般事項</p> <p>◎工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。</p> <p>◎各部の撤去により、下地及び構造躯体にひび割れ及び欠陥部が発見された場合は、速やかに監督員に報告し指示を受けること。</p> <p>◎各改修工事の仕様は、仕様・仕上げ表による。 ①天井改修 改標仕6.4.2参照</p> <table border="1"> <tr> <th>撤去区分</th> <th>既存壁取合の補修範囲及び内容</th> </tr> <tr> <td>天井下地を含む全面</td> <td rowspan="3">照明器具等による補強が必要な場合は、その内容も記入</td> </tr> <tr> <td>ボード面まで</td> </tr> <tr> <td>ボード面を残し仕上げのみ</td> </tr> </table> <p>・既存天井面に直接新たな仕上げ材を張付ける。 ・既存天井塗装仕上げ面を塗替を行う。</p> <p>◎JIS A 6517の規格品とする。</p> <p>◎野縁等の種類は、屋内19型、屋外25型とし、改標仕表6.6.11による。</p> <p>◎既存の埋め込みインサートの使用は、改標仕6.6.4(1)(ウ)による引き抜き試験を行い、強度を確認したうえで使用すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>材種・規格品</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>不燃材等の区分</th> <th>小ねじ・釘・接着剤の種類</th> <th>下地の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">せっこうボード JIS A 6901の規格品</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>突付</td> <td>9.5</td> <td>準不燃</td> <td>改標仕6.13.2</td> <td rowspan="2">ボード</td> <td rowspan="2">LGS</td> </tr> <tr> <td>継目処理</td> <td>9.5</td> <td>準不燃</td> <td>改標仕6.13.2</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード JIS A 6901の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>12.5</td> <td>不燃</td> <td>改標仕6.13.2</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9.5</td> <td>準不燃</td> <td>改標仕6.13.2</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>12</td> <td>不燃</td> <td>改標仕6.13.2</td> <td>ボード</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>19</td> <td>不燃</td> <td>改標仕6.13.2</td> <td>ボード</td> <td>凹凸</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品</td> <td>天井</td> <td>目透かし</td> <td>6</td> <td>不燃</td> <td>改標仕6.13.2</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> </table> <p>◎合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能の級別</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>天井面</td> <td>ビニル(量産品)</td> <td>準不燃</td> <td>改標仕 表7.3.7 B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井面</td> <td>加工(織物)</td> <td>準不燃</td> <td>改標仕 表7.3.7 B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>◎ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の壁紙を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>7㎜製</td> <td>600角</td> <td>一般型</td> <td>屋外用</td> <td>額縁</td> <td>目地 凹凸</td> </tr> <tr> <td>7㎜製</td> <td>450角</td> <td>一般型</td> <td>屋内用</td> <td>額縁</td> <td>目地 凹凸</td> </tr> <tr> <td>7㎜製</td> <td>600角</td> <td>一般型</td> <td>屋内用</td> <td>額縁</td> <td>額縁</td> </tr> <tr> <td>7㎜製</td> <td>450角</td> <td>一般型</td> <td>屋内用</td> <td>額縁</td> <td>額縁</td> </tr> </table> <p>◎製作所： 評価名簿による。</p>	撤去区分	既存壁取合の補修範囲及び内容	天井下地を含む全面	照明器具等による補強が必要な場合は、その内容も記入	ボード面まで	ボード面を残し仕上げのみ	材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考	せっこうボード JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	準不燃	改標仕6.13.2	ボード	LGS	継目処理	9.5	準不燃	改標仕6.13.2	せっこうボード JIS A 6901の規格品	天井	突付	12.5	不燃	改標仕6.13.2	LGS		化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	準不燃	改標仕6.13.2	LGS		ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	突付	12	不燃	改標仕6.13.2	ボード		ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	突付	19	不燃	改標仕6.13.2	ボード	凹凸	けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	天井	目透かし	6	不燃	改標仕6.13.2	LGS		施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	備考	天井面	ビニル(量産品)	準不燃	改標仕 表7.3.7 B種		天井面	加工(織物)	準不燃	改標仕 表7.3.7 B種		材種	寸法	形式	外枠	内枠	備考	7㎜製	600角	一般型	屋外用	額縁	目地 凹凸	7㎜製	450角	一般型	屋内用	額縁	目地 凹凸	7㎜製	600角	一般型	屋内用	額縁	額縁	7㎜製	450角	一般型	屋内用	額縁	額縁	<p>I. アスベスト含有建材の 処理工事</p> <p>① 一般事項</p> <p>◎関係法令、都道府県の条例等を遵守すること。 ◎石綿ばく露防止対策等の実施内容を改標仕9.1.2(6)により見やすい場所に掲示すること。 ◎既存の石綿含有建材の分析結果は(「貸与する」・ない) ◎事前の施工調査等を改標仕9.1.1(5)及び大気汚染防止法により行うこと。 ・調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。 ・監督員へも結果を提出すること。 ・調査結果は3年間保存すること。 ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。 ・分析によりアスベスト含有調査を行う場合は、JIS A 1481-Iによること。</p> <p>◎アスベスト粉塵濃度測定を(行う・行わない)。 ・濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第一部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 ・測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・報告書を(3)部作成し監督員に提出すること。 ・測定場所及び箇所は図示による。測定時期 施工前2か所、施工中5か所、施工後2か所</p> <p>◎施工計画 (1) 工事着手前に施工計画書(関係法令の作業計画内容を含む)を監督員に提出し、承諾を受けること。 (2) アスベスト除去工事に係る官公署他への手続きを遅延なく行うこと。</p> <p>◎アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出する。</p> <p>◎養生等 (1) 建築物外周部で除去作業を行う場合の仮囲いの仕様は以下による。 外部足場(外壁改修の足場と兼用、シート種類:プラスチックシート厚0.15mm以上) 仮囲い高さ:H= m</p> <p>◎工法 (1) 除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具の撤去にさきがけて行うこと。 (2) 除去は、破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則「手ばらし」とする。 建築物外部の成形板を除去する場合は、できる限り原形のまま除去すること。 (3) 除去作業中は、原則として散水その他の方法によりアスベスト成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。 (4) 建物から取り外した廃材を原型のまま保管・運搬できるよう十分な大きさのフレキシブルコンテナバッグや車両を用意すること。 (5) やむを得ず破砕等が必要な場合は、石綿等の粉じんを飛散させないよう十分な湿潤化を行うとともに、ビニルシート等で隔離を行い作業場所の外部に飛散させないための措置を講じること。</p> <p>◎除去箇所一覧表</p> <table border="1"> <tr> <th>階数</th> <th>室名</th> <th>箇所</th> <th>建材種別</th> <th>面積</th> <th>調査方法</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>更衣休憩</td> <td>天井</td> <td>けい酸カルシウム板</td> <td>6.0㎡</td> <td>みなし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◎施工記録等 (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。</p> <p>◎主要工法 剥離剤併用手工具ケレン工法 補完工法 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法(HEPAフィルター付集塵装置使用)</p> <p>◎除去箇所一覧表</p> <table border="1"> <tr> <th>階数</th> <th>室名</th> <th>箇所</th> <th>建材種別</th> <th>面積</th> <th>調査方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◎作業場の隔離等 (1) 前室、洗浄室及び更衣室は(図示の位置に設ける・仮設建築物を設ける)。</p> <p>◎隔離養生等</p> <p>◎施工記録等 (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 施工記録報告書のうち作業者の作業記録は40年間保存すること。 (3) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。</p>	階数	室名	箇所	建材種別	面積	調査方法	1	更衣休憩	天井	けい酸カルシウム板	6.0㎡	みなし													階数	室名	箇所	建材種別	面積	調査方法																		
種類の記号	規格番号・規格名称等	適用箇所																																																																																																																																																																					
SS400	一般構造用圧延鋼材	架台																																																																																																																																																																					
撤去区分	既存壁取合の補修範囲及び内容																																																																																																																																																																						
天井下地を含む全面	照明器具等による補強が必要な場合は、その内容も記入																																																																																																																																																																						
ボード面まで																																																																																																																																																																							
ボード面を残し仕上げのみ																																																																																																																																																																							
材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考																																																																																																																																																																
せっこうボード JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	準不燃	改標仕6.13.2	ボード	LGS																																																																																																																																																																
		継目処理	9.5	準不燃	改標仕6.13.2																																																																																																																																																																		
せっこうボード JIS A 6901の規格品	天井	突付	12.5	不燃	改標仕6.13.2	LGS																																																																																																																																																																	
化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	準不燃	改標仕6.13.2	LGS																																																																																																																																																																	
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	突付	12	不燃	改標仕6.13.2	ボード																																																																																																																																																																	
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	突付	19	不燃	改標仕6.13.2	ボード	凹凸																																																																																																																																																																
けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	天井	目透かし	6	不燃	改標仕6.13.2	LGS																																																																																																																																																																	
施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	備考																																																																																																																																																																			
天井面	ビニル(量産品)	準不燃	改標仕 表7.3.7 B種																																																																																																																																																																				
天井面	加工(織物)	準不燃	改標仕 表7.3.7 B種																																																																																																																																																																				
材種	寸法	形式	外枠	内枠	備考																																																																																																																																																																		
7㎜製	600角	一般型	屋外用	額縁	目地 凹凸																																																																																																																																																																		
7㎜製	450角	一般型	屋内用	額縁	目地 凹凸																																																																																																																																																																		
7㎜製	600角	一般型	屋内用	額縁	額縁																																																																																																																																																																		
7㎜製	450角	一般型	屋内用	額縁	額縁																																																																																																																																																																		
階数	室名	箇所	建材種別	面積	調査方法																																																																																																																																																																		
1	更衣休憩	天井	けい酸カルシウム板	6.0㎡	みなし																																																																																																																																																																		
階数	室名	箇所	建材種別	面積	調査方法																																																																																																																																																																		
3章 塗装改修工事																																																																																																																																																																							
<p>① 一般事項</p> <p>◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。</p> <p>◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。</p> <p>◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ボード面(新規)</td> <td>B種 標仕 表18.9.1</td> <td>B種 標仕 表18.2.7</td> <td></td> </tr> </table> <p>③ 合成樹脂エマルジョン ペイント塗料(EP)</p>	区分	種別	下地調整	備考	ボード面(新規)	B種 標仕 表18.9.1	B種 標仕 表18.2.7																																																																																																																																																																
区分	種別	下地調整	備考																																																																																																																																																																				
ボード面(新規)	B種 標仕 表18.9.1	B種 標仕 表18.2.7																																																																																																																																																																					

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 6 営繕 徳島県土整備局徳島庁舎 徳・南末広 空調設備改修工事空調	●図面番号 A-01	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198
	●図面名 特記仕様書	●縮尺 A2 --- NON --- A3 --- NON ---	

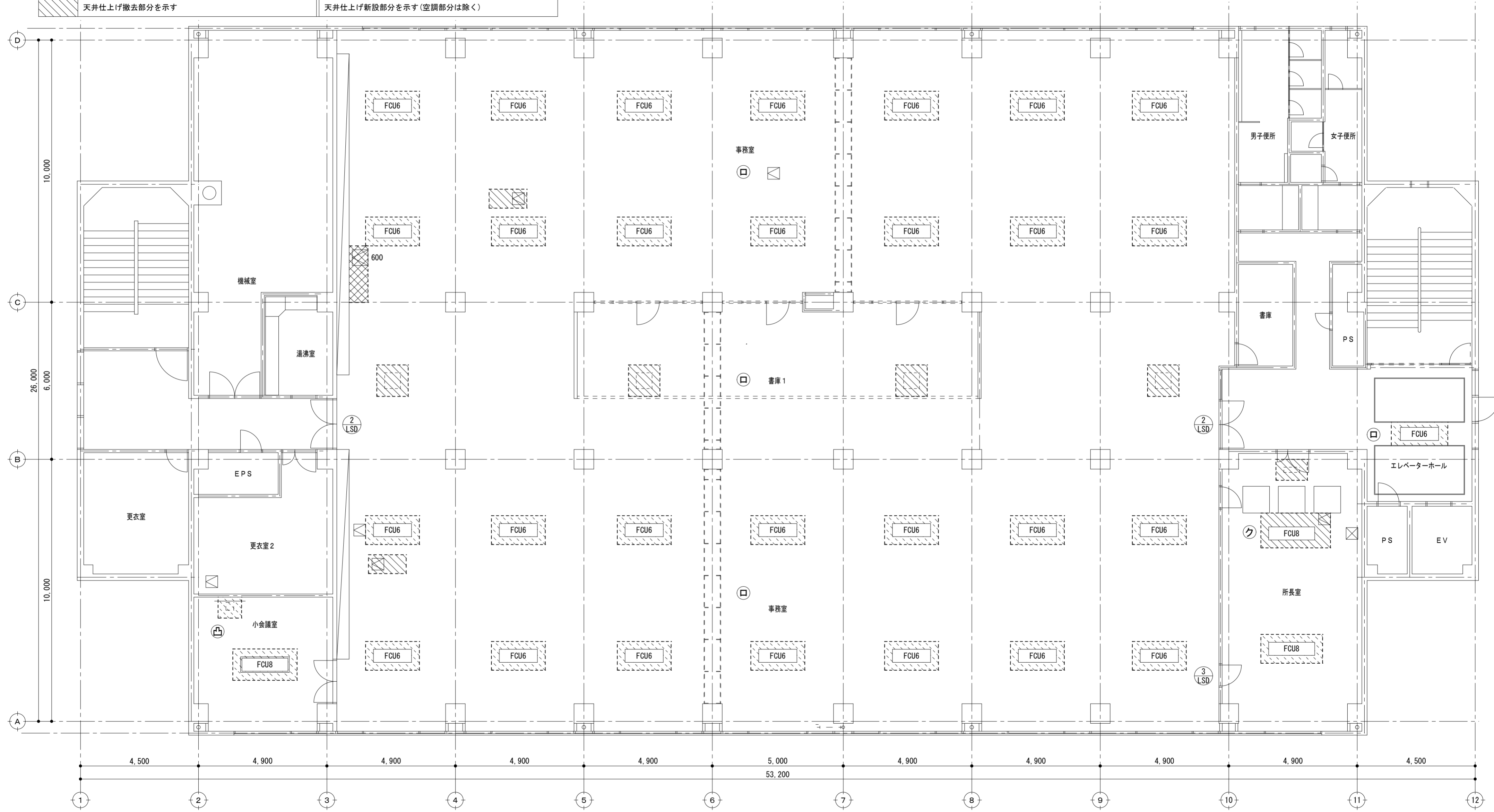
符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
凸	ロック化化粧吸音板厚19凹凸(撤去), 下地石膏板厚9(撤去) 壁際・器具周囲:ロック化化粧吸音板厚12(撤去)	ロック化化粧吸音板厚19凹凸(新設), 下地石膏板厚9.5(新設) 壁際・器具周囲:ロック化化粧吸音板厚12(新設)
口	ロック化化粧吸音板厚12(撤去), 下地石膏板厚9(撤去)	ロック化化粧吸音板厚12(新設), 下地石膏板厚9.5(新設)
化	化粧石膏板厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板厚9.5 455×910(新設)
化	化粧石膏板厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板厚9.5 455×910(新設)
杉	杉板石膏板厚9(撤去)	ビニルクロス張り(新設), 下地石膏板厚9.5(新設)
ク	クロス張り(撤去), 下地石膏板厚9+12(撤去)	クロス張り(新設), 下地石膏板厚9.5+12.5(新設)
ビ	ビニルクロス張り(撤去), 下地石膏板厚9+12(撤去)	ビニルクロス張り(新設), 下地石膏板厚9.5+12.5(新設)
ケ	けい酸カルシウム板厚6 目透かし VP塗り (フラスト含有, 撤去)	けい酸カルシウム板厚6 目透かし EP塗り(新設)
斜線	天井上げ・下地撤去部分を示す	天井上げ・下地新設部分を示す(空調部分は除く)
斜線	天井上げ撤去部分を示す	天井上げ新設部分を示す(空調部分は除く)

- ☒ は既存天井点検口を示す
- ☒ は天井点検口450角(600角), LGS開口補強共を示す
- ※吹出・吸込み口部は下地LGS新設
- ※空調室内機はLGS開口補強新設



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
凸	ロック化化粧吸音板厚19凹凸(撤去), 下地石膏板-ト'厚9(撤去) 壁際・器具周囲:ロック化化粧吸音板厚12(撤去)	ロック化化粧吸音板厚19凹凸(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5(新設) 壁際・器具周囲:ロック化化粧吸音板厚12(新設)
口	ロック化化粧吸音板厚12(撤去), 下地石膏板-ト'厚9(撤去)	ロック化化粧吸音板厚12(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5(新設)
化	化粧石膏板-ト'厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板-ト'厚9.5 455×910(新設)
化	化粧石膏板-ト'厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板-ト'厚9.5 455×910(新設)
杉	杉化粧石膏板-ト'厚9(撤去)	ビニルクロス張り(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5(新設)
ク	クロス張り(撤去), 下地石膏板-ト'厚9+12(撤去)	クロス張り(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5+12.5(新設)
ビ	ビニルクロス張り(撤去), 下地石膏板-ト'厚9+12(撤去)	ビニルクロス張り(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5+12.5(新設)
ケ	けい酸カルシウム板厚6 目透かし VP塗り (フラス含有, 撤去)	けい酸カルシウム板厚6 目透かし EP塗り(新設)
斜線	天井仕上げ・下地撤去部分を示す	天井仕上げ・下地新設部分を示す(空調部分は除く)
斜線	天井仕上げ撤去部分を示す	天井仕上げ新設部分を示す(空調部分は除く)

☒ は既存天井点検口を示す  
☒ は天井点検口450角(600角), LGS開口補強共を示す  
※吹出・吸込み口部は下地LGS新設  
※空調室内機はLGS開口補強新設



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
凸	ロック化粒吸音板厚19凹凸(撤去), 下地石膏板-ト'厚9(撤去) 壁際・器具周囲:ロック化粒吸音板厚12(撤去)	ロック化粒吸音板厚19凹凸(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5(新設) 壁際・器具周囲:ロック化粒吸音板厚12(新設)
口	ロック化粒吸音板厚12(撤去), 下地石膏板-ト'厚9(撤去)	ロック化粒吸音板厚12(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5(新設)
化	化粧石膏板-ト'厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板-ト'厚9.5 455×910(新設)
化	化粧石膏板-ト'厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板-ト'厚9.5 455×910(新設)
杉	杉珩石膏板-ト'厚9(撤去)	ビニル珩張り(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5(新設)
ク	珩張り(撤去), 下地石膏板-ト'厚9+12(撤去)	珩張り(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5+12.5(新設)
ビ	ビニル珩張り(撤去), 下地石膏板-ト'厚9+12(撤去)	ビニル珩張り(新設), 下地石膏板-ト'厚9.5+12.5(新設)
ケ	けい酸カルシウム板厚6 目透かし VP塗り (フラス含有, 撤去)	けい酸カルシウム板厚6 目透かし EP塗り(新設)
斜線	天井仕上げ・下地撤去部分を示す	天井仕上げ・下地新設部分を示す(空調部分は除く)
斜線	天井仕上げ撤去部分を示す	天井仕上げ新設部分を示す(空調部分は除く)

- ☒ は既存天井点検口を示す
- ☒ は天井点検口450角(600角), LGS開口補強共を示す
- ※吹出・吸込み口部は下地LGS新設
- ※空調室内機はLGS開口補強新設



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
凸	ロック化粒吸音板厚19凹凸(撤去), 下地石膏板厚9(撤去) 壁際・器具周囲:ロック化粒吸音板厚12(撤去)	ロック化粒吸音板厚19凹凸(新設), 下地石膏板厚9.5(新設) 壁際・器具周囲:ロック化粒吸音板厚12(新設)
口	ロック化粒吸音板厚12(撤去), 下地石膏板厚9(撤去)	ロック化粒吸音板厚12(新設), 下地石膏板厚9.5(新設)
化	化粧石膏板厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板厚9.5 455×910(新設)
化	化粧石膏板厚9 455×910(撤去)	化粧石膏板厚9.5 455×910(新設)
杉	杉化粧石膏板厚9(撤去)	ビニルクロス張り(新設), 下地石膏板厚9.5(新設)
ク	クロス張り(撤去), 下地石膏板厚9+12(撤去)	クロス張り(新設), 下地石膏板厚9.5+12.5(新設)
ビ	ビニルクロス張り(撤去), 下地石膏板厚9+12(撤去)	ビニルクロス張り(新設), 下地石膏板厚9.5+12.5(新設)
ケ	けい酸カルシウム板厚6 目透かし VP塗り (フラス含有, 撤去)	けい酸カルシウム板厚6 目透かし EP塗り(新設)
斜線	天井仕上げ・下地撤去部分を示す	天井仕上げ・下地新設部分を示す(空調部分は除く)
斜線	天井仕上げ撤去部分を示す	天井仕上げ新設部分を示す(空調部分は除く)

は既存天井点検口を示す  
 は天井点検口450角(600角), LGS開口補強共を示す  
 ※吹出・吸込み口部は下地LGS新設  
 ※空調室内機はLGS開口補強新設



符 号	場 所	1 技師詰所, 運転者詰所, 3F事務室	2 2F事務室	3 所長室	4 入札室兼会議室, 閲覧室兼会議室	5 検査官室	6 大会議室	7 書庫						
名 称	LSD	親子開き軽量スチール7	両開き軽量スチール7	LSD	片開き軽量スチール7	LSD	親子開き軽量スチール7	LSD	親子開き軽量スチール7					
現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去	現況・撤去					
図														
見 込	数 量	36	3 か所	36	2 か所	36	1 か所	36	2 か所	36	1 か所	36	1 か所	
ガラス	仕 上	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	
金 物	ビレットヒンジ, ドアフェック, 戸当り, フランス落し 握玉付シリンドラ錠, 本締錠													
備 考	扉撤去													



符 号	場 所	1 技師詰所, 運転者詰所, 3F事務室	2 2F事務室	3 所長室	4 入札室兼会議室, 閲覧室兼会議室	5 検査官室	6 大会議室	7 書庫						
名 称	LSD	親子開き軽量スチール7	両開き軽量スチール7	LSD	片開き軽量スチール7	LSD	親子開き軽量スチール7	LSD	親子開き軽量スチール7					
改修後	改修後	改修後	改修後	改修後	改修後	改修後	改修後	改修後	改修後					
図														
見 込	数 量	36	3 か所	36	2 か所	36	1 か所	36	2 か所	36	1 か所	36	1 か所	
ガラス	仕 上	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	化粧鋼板厚0.6	型 4	
金 物	ビレットヒンジ, ドアフェック, 戸当り, フランス落し 握玉付シリンドラ錠, 本締錠													
備 考	7&8がリ 開口率50%													

※開き勝手は建具配置図参照